

現行（第2次計画）

第2次京丹後市観光振興計画

「極上のふるさと観光づくり」



琴引浜（国指定天然記念物及び名勝）

平成25年6月
京丹後市

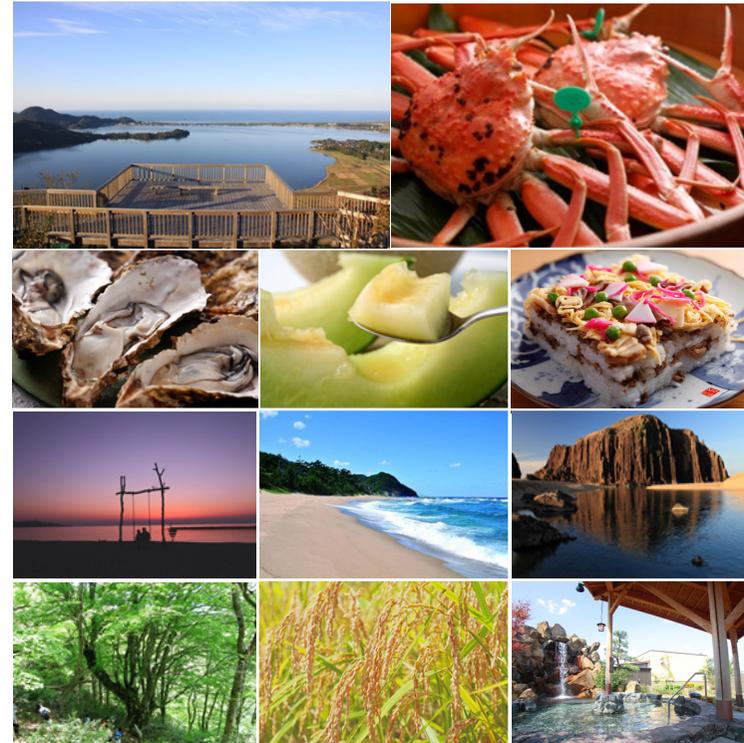
改正案（第3次計画）

第3次京丹後市観光振興計画



“旬”でもてなす食のまち

ジオの魅力あふれる「滞在型観光地」へ



海の京都



山陰海岸ジオパーク

平成30年3月
京丹後市

変更理由等

「※」のみ記した場所は、前後の文脈等からより理解しやすい文言へ整理したもの又は単純な時点修正によるもの

コンセプト変更に伴う修正

※

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
市長あいさつ	市長あいさつ	

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p style="text-align: center;">< 目 次 ></p> <p>はじめに</p> <p>序 計画 概要</p> <p>1 計画の目的 3</p> <p>2 計画の内容 4</p> <p>3 京丹後市観光立市推進条例 6</p> <p>4 検討体制 6</p> <p>第1章 現状と課題</p> <p>1 一般的な観光動向 8</p> <p>2 京丹後市の観光の現状 11</p> <p>3 観光振興の課題整理 32</p> <p>第2章 将来ビジョン</p> <p>1 コンセプト 42</p> <p>2 目標数値 42</p> <p>3 基本方針とテーマ 43</p> <p>第3章 アクションプラン</p> <p>1 重点戦略プロジェクト 45</p> <p>2 アクションプランメニュー 49</p> <p>第4章 地域別計画</p> <p>1 地域別計画の目標とテーマ 59</p> <p>2 地域別計画 60</p> <p><参考資料></p> <p>1 京丹後市観光立市推進条例 67</p> <p>2 計画策定の経緯 73</p> <p>3 観光資源一覧 74</p>	<p style="text-align: center;">< 目 次 ></p> <p>はじめに</p> <p>序章 計画策定の概要</p> <p>1 計画の目的</p> <p>2 計画の位置づけ</p> <p>3 計画策定の背景</p> <p>4 計画概要</p> <p>5 計画の策定及び推進の体制</p> <p>第1章 現状と課題</p> <p>1 観光の現状</p> <p>2 観光の課題及び対策の方向性</p> <p>第2章 将来ビジョン</p> <p>1 コンセプト</p> <p>2 目標数値</p> <p>3 基本方針と基本戦略</p> <p>第3章 戦略プロジェクト</p> <p>1 戦略プロジェクト</p> <p>2 エリア別目標・地域別プロジェクト</p> <p><参考資料></p> <p>1 京丹後市観光立市推進条例及び同条例施行規則</p> <p>2 計画策定の経緯</p> <p>3 観光の現状データ</p> <p>4 第2次京丹後市観光振興計画の主な実績及び成果・課題</p> <p>5 観光資源一覧</p>	<p>※</p> <p>第1章「一般的な観光動向」から移行</p> <p>※</p> <p>序章へ移行</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>アクションプラン廃止→戦略プロジェクトへの変更に伴う修正</p> <p>第3章「エリア別目標・地域別プロジェクト」へ移行</p> <p>第1章から移行</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<hr/> <hr/> <hr/> <p>4 観光関連事業の補助制度・関係法令 79</p> <p>5 その他の主な意見 92</p> <p><u>※用語説明<本文中※の付いた用語はこちらを参照してください></u> 93</p>	<p>6 <u>第2次京丹後市総合計画・基本計画 (抜粋)</u></p> <p>7 <u>「海の京都観光圏」計画概要</u></p> <p>8 <u>「海の京都」京丹後市マスタープラン</u></p> <p>9 <u>観光関連事業の補助制度・関係法令</u></p> <hr/> <hr/>	<p>} 追加</p> <p>削除 用語説明は各ページ下部 欄外へ掲載</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>___総合的な対応が大変重要となっています。</p> <p>このため、第1次計画の検証と見直しを行うことにより、これらの諸課題について対応し、観光立市の実現を目指すべく、「第2次京丹後市観光振興計画～<u>極上のふるさと観光づくり</u>～」（以下「第2次計画」という。）を策定するものです。</p> <p>なお、この___計画は、市、観光関係団体、観光事業者、市民などが___観光立市の実現___という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものと位置づけます。</p> <p>2 計画の内容</p> <p>(1) 明らかにすべき計画の内容</p> <p>① <u>京丹後市の観光の現状と課題を明らかにします</u></p> <p>○<u>観光入込客数、観光施設の利用、観光資源、主要観光施策などの状況、現状を明らかにします</u></p> <p>○<u>観光振興の課題は何かを明らかにします</u></p> <p>② <u>将来ビジョンと目標を明らかにします</u></p> <p>○<u>観光振興のコンセプト※を明らかにします</u></p> <p>○<u>将来の目標を明らかにします</u></p> <p>③ <u>実行性のある「アクションプラン※」と「地域別計画」を明らかにします</u></p> <p>○<u>5つの基本方針と、それに基づく「アクションプラン」を明らかにします</u></p> <p>○<u>地域の現状と特色を活かした「地域別計画」を明らかにします</u></p> <p>○<u>これまでの取り組みを踏まえて具体的な「重点戦略プロジェクト」を明らかにします</u></p> <p>(2) 計画の位置づけ</p> <p>① <u>関連計画などとの整理</u></p> <p>○<u>観光立国推進基本法・観光立国推進基本計画【国】</u></p> <p>平成19年1月に施行された「観光立国推進基本法」に基づき、観光立国の実現に関する</p>	<p><u>め</u>総合的な対応が大変重要となっています。</p> <p>このため、第2次計画の検証と見直しを行うことにより、これらの諸課題について対応し、「観光立市の実現」を目指すべく、「第3次京丹後市観光振興計画～<u>旬</u>でもてなす食のまち～」（以下「第3次計画」という。）を策定するものです。</p> <p>なお、この第3次計画は、市、観光関係団体、観光事業者、市民などが、<u>ともに「観光立市の実現」</u>という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものと位置づけます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【参考】京丹後市観光立市推進条例</p> <p><u>この条例は、観光立市を実現するための基本理念を定め、市の責務及び市民、観光事業者、観光関係団体の役割を明らかにするとともに、観光立市の実現に関する施策の基本となる事項を定めたもので、京丹後市議会（観光振興条例調査特別委員会）により提案され、平成21年4月1日に施行されました。</u></p> <p>※京丹後市観光立市推進条例の全文は「参考資料」を参照</p> </div> <p>_____</p> <p>2 計画の位置づけ</p> <p>(1) <u>関連計画などとの整合性</u></p> <p>○ <u>観光立国推進基本法・観光立国推進基本計画【国】</u></p> <p>平成19年1月に施行された「観光立国推進基本法」に基づき、観光立国の実現に関する</p>	<p>計画の内容は、「4計画の概要」に移行</p> <p>※</p>

現行(第2次計画)	改正案(第3次計画)	変更理由等
<p>平成20年10月に国の認定を受けた、丹後3市2町で実施する「京都府丹後観光圏整備実施計画」の目標、事業との整合性に留意しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・事業名 丹後の海、山、里の多様な魅力を活かした「ふるさと観光」による滞在力強化事業</p> </div> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>○第1次京丹後市総合計画・後期基本計画【京丹後市】 平成22年3月に策定した「第1次京丹後市総合計画・後期基本計画」にある <u>観光振興施策の方針</u>（以下のとおり）、<u>内容との整合性に留意しました。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「極上のふるさと観光づくり」の実現／地域資源の保全と活用／歴史文化の保全と活用／観光資源のネットワーク／四季型滞在観光の推進／健康志向に対応した観光の推進／環境先進地としてのエコツーリズムの推進／情報発信の強化／交流の機会づくり</p> </div> <p>○京丹後市まちづくり基本条例【京丹後市】 平成20年に施行された、「京丹後市まちづくり基本条例」にうたわれる、まちづくりを進めていくうえでの基本的な考え方やルールに留意しました。</p>	<p><u>思想、伝統と先進が融合した産業など「人類共通の価値」を発見し、地球の未来を考える観光</u></p> <p>② <u>京都府の観光ブランドのコンセプトに基づく具体的なプロジェクトの実施</u> ア <u>日本の心を発信する着地型観光の取組の強化</u> イ <u>日本の心にふれる機会を創出する取組の強化</u></p> <p>③ <u>来訪者に優しい京都ならではの「おもてなし」の充実</u></p> <p>○ <u>海の京都観光圏整備実施計画・「海の京都」観光地域づくり戦略【海の京都DMO】</u> 「海の京都」を構成する北部7市町を圏域とする「海の京都観光圏整備実施計画」（平成26年7月国認定）と「『海の京都』観光地域づくり戦略」（平成29年策定）のコンセプト（以下のとおり）、目標及び事業との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「海の京都」 『天地山海にいきづく和の源流』</p> </div> <p>○ <u>京丹後市まちづくり基本条例【京丹後市】</u> 平成20年に施行された、「京丹後市まちづくり基本条例」に定められている、まちづくりを進めていくうえでの基本的な考え方やルールとの整合を図ります。</p> <p>○ <u>第2次京丹後市総合計画</u> _____ 【京丹後市】 平成29年3月に策定した「第2次京丹後市総合計画・基本計画」に定められている「5つの重点項目」（以下のとおり）及び「<u>施策4 滞在型観光・スポーツ観光の促進</u>」の内容との整合を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《1》【地域づくり】地域が元気に“輝く”、市民主役のまち 《2》【ひとづくり】若者が希望に“輝く”、「おもろい」まち 《3》【ものづくり】“輝く” 匠の技と資源が集積するまち 《4》【魅力づくり】“輝く” 豊富な「食材」を活かしたまち 《5》【基盤づくり】“輝く” 未来に、社会の基盤を築くまち</p> </div> <p>○ <u>京丹後『食の王国』のまちづくり宣言に関する決議</u> 平成28年3月に決議された「京丹後『食の王国』のまちづくり宣言との整合を図ります。</p>	<p>新たな計画策定に伴う追加</p> <p>※</p> <p>計画の見直しに伴う修正</p> <p>追加</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p><u>3 京丹後市観光立市推進条例</u></p> <p>京丹後市観光立市推進条例は、観光立市を実現するための基本理念を定め、市の責務及び市民、観光事業者、観光関係団体の役割を明らかにするとともに、観光立市の実現に関する施策の基本となる事項を定めたもので、京丹後市議会（観光振興条例調査特別委員会）により提案され、平成21年3月に制定、同4月1日に施行されました。</p> <p>第2次計画は、本条例の趣旨に基づくものであり、内容についても整合性を図りました。</p> <p>※京丹後市観光立市推進条例の全文は参考資料を参照</p>	<p><u>4 計画概要</u></p> <p><u>(1) 計画の役割・期間・意義</u></p> <p>① <u>計画の役割</u> 京丹後市観光立市推進条例の趣旨に基づき、観光立市の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための具体的な取組として策定しました。</p> <p>② <u>計画の期間</u> 5年間（平成30年度～34年度）とし、5年ごとに見直します。</p> <p>③ <u>計画の意義</u></p> <p>○ 第3次計画は、第2次計画の実績や環境の変化を踏まえて、市、観光関係団体、観光事業者、市民などがその内容を十分認識し、観光立市の実現という目標に向かって、さらにそれぞれの立場で実行するものです。</p> <p>○ 第3次計画では、上位計画である「第2次京丹後市総合計画・基本計画」の「5つの重点項目」を踏まえ、新たに「“旬”の食を活かした観光」を柱としたコンセプトを掲げます。</p> <p><u>(2) 明らかにすべき計画の内容</u></p> <p>① <u>京丹後市の観光の現状と課題を明らかにします。</u></p> <p>○ <u>観光入込客数と観光形態、観光施設などの利用状況、特徴的な観光資源など、現状を明らかにします。</u></p> <p>○ <u>観光の課題及び対策の方向性を明らかにします。</u></p> <p>② <u>将来ビジョンを明らかにします。</u></p> <p>○ <u>観光振興のコンセプトを明らかにします。</u></p> <p>○ <u>将来の目標数値を明らかにします。</u></p> <p>○ <u>基本方針と、それらに基づく基本戦略を明らかにします。</u></p>	<p>「1計画の目的」の下段に移行</p> <p>「計画の位置づけ」から移行 表題修正 ※</p> <p>「2計画の内容」から移行 ※</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p><u>③ 実行性のある「戦略プロジェクト」を明らかにします。</u></p> <p>○ <u>基本方針と基本戦略に基づく、「戦略プロジェクト」を明らかにします。</u></p> <p>○ <u>地域の現状と特色を活かした「エリア別目標・地域別プロジェクト」を明らかにします。</u></p> <p><u>④ 第2次計画の見直し項目等</u></p> <p>○ <u>計画の構成を簡素化するなど、より分かりやすい計画にします。</u></p> <p>○ <u>「目標数値」には、滞在型観光を重視するため、「観光消費額」等の新たな指標を加えます。</u></p> <p>○ <u>第2次計画に定められていた具体的な事業の提案「アクションプラン」に代わり、戦略の内容を整理した「戦略プロジェクト」を示します。</u></p> <p>○ <u>第2次計画に定められていた旧6町ごとの「地域別計画」は、「海岸エリア」と「里山エリア」に分け、それぞれの特色と取組の方向性を整理した「エリア別の目標・地域別プロジェクト」として整理します。</u></p>	<p>※</p> <p>「計画の位置づけ」から移行し時点修正</p>
<p><u>4 検討体制</u></p> <p>_____</p> <p>京丹後市観光立市推進条例に基づき京丹後市観光立市推進会議を設置し、_____計画の進捗状況、推進についての確認と協議、及び_____計画の見直しについて検討を行いました。また、京丹後市観光立市推進会議には、<u>統括部会</u>を設け、見直しの考え方_____などについて_____検討を行いました。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p><u>(1) 京丹後市観光立市推進会議委員選出団体</u></p> <p><u>京丹後市観光協会、京丹後市商工会、NPO法人全国まちづくりサポートセンター丹後支所、京丹後宿おかみさんの会、市内観光施設、観光事業者、有識者（市内各地域代表、大学教授など）、京都府、市関係課</u></p>	<p><u>5 計画の策定及び推進の体制</u></p> <p><u>(1) 検討組織</u></p> <p>京丹後市観光立市推進条例に基づき京丹後市観光立市推進会議を設置し、<u>第2次計画の進捗状況_____の確認</u>及び<u>第2次計画の見直しについて協議・検討</u>を行いました。また、京丹後市観光立市推進会議には、<u>検討部会</u>を設け、見直しの考え方、<u>内容</u>などについて<u>審議・検討</u>を行いました。</p> <p><u>※京丹後市観光立市推進会議の設置、組織などについては、参考資料「京丹後市観光立市推進条例及び同条例施行規則」「計画策定の経緯」を参照</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>「参考資料」があるため削除</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>(2) 検討組織図</p> <p>◇図-1 京丹後市観光立市推進会議 検討組織図</p> <p>(3) _____ 計画の推進及び見直しの検討</p> <p>京丹後市観光立市推進条例に基づき京丹後市観光立市推進会議を設置し、_____ 計画の進捗状況 _____、推進についての確認と協議を行うとともに、社会・経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応できるよう、必要に応じて_____ 計画の見直しについて検討 _____ を行います。 <u>※京丹後市観光立市推進会議の設置、組織などについては、参考資料「京丹後市観光立市推進条例」を参照</u></p>	<p>_____</p> <p>_____</p> <p style="text-align: center;"><削除></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>(2) 第3次計画の推進及び見直し _____</p> <p>_____ 京丹後市観光立市推進会議において、第3次計画の _____ 推進についての確認 _____ を行うとともに、社会・経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応できるよう、必要に応じて第3次計画の見直しについて検討し、<u>改正</u> _____ を行います。</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p>「参考資料」があるため削除</p> <p>※</p> <p>削除</p>

・車（近畿道、中国道、舞鶴道、京都縦貫道経由）

で約3時間20分

◇図—2 京丹後市交通アクセス図



⑤市内観光地の状況

主な宿泊エリア及び温泉地は東西にわたる海岸沿いに広がり、海水浴、海岸景観を活かし、本市観光の中心を担っています。

一方、内陸部には豊かな自然を活かしたアウトドア施設、体験施設、農業公園、日帰り温泉施設などが点在し、観光エリアは市の全域に広がります。

広範囲にわたる観光地を周遊するための公共交通網の整備をさらに進め、観光地及び観光施設間の連携を推進することが今後の課題です。

・車：（阪和自動車道、近畿自動車道、第二京阪道路、京都縦貫自動車道、山陰近畿自動車道）で約3時間

◇図—1 京丹後市交通アクセス図



③市内観光地の状況

主な宿泊エリア及び温泉地は東西にわたる海岸沿いに広がり、海水浴、海岸景観を活かし、本市観光の中心を担っています。

一方、内陸部には豊かな自然を活かしたアウトドア施設、体験施設、農業公園、日帰り温泉施設などが点在し、観光エリアは市の全域に広がります。

変更理由等

※

※

削除

◇図-3 京丹後市内公共交通マップ



<公共交通マップ削除>

削除

(2) 観光入込客数の状況

① 観光入込客の状況と特徴

○昭和50年代頃からのカニ料理と温泉を中心とした戦略が功を奏し、平成10年頃まで大幅に入込客が増加し、平成10年には年間入込客数が220万人に達しました。

○近年は、海水浴離れ、カニによる誘客がピークを過ぎたことに加え、旅行者のニーズの多様化、停滞する経済状況などの要因により、平成17年以降の入込客数は200万人を割るなど、減少傾向が続いています。

○夏季の海水浴、冬季のカニを軸とした二季型の観光地で、4月、6月、9月、10月の入込客が少ない状況にあります。

○夏季、冬季とも京阪神地方からの観光客が最も多く、日帰りまたは1泊の短期滞在が中心です。

○外国人観光客が少ない状況にあります。(外国人宿泊者数は宮津市の1%)

(2) 入込客数の状況と観光形態

① 日帰り客の伸びに比べ、宿泊客と観光消費額の伸びが小さい

【図-2、図-3、図-4参照】

○平成27年の「海の京都」ターゲットイヤーの取組強化や、京都縦貫自動車道全線開通、平成28年の山陰近畿自動車道京丹後大宮インターチェンジまでの延伸の効果などにより、平成27年、平成28年には観光入込客数は219万人まで回復しました。

○観光客中「日帰り客の割合」は約84%、「宿泊客」は16%。また「日帰り客数の伸び」は平成24年から平成27年の間で131%である一方、「宿泊客数の伸び」は同111%と、宿泊客の伸びが小さい状況です。

○入込客数の伸びに比べ、消費額の伸びは小さく、観光客一人あたりの消費額は平成23年は3,589円でしたが、平成28年は3,113円と減っています。

② 観光客の「滞在時間」が短い。【図-5、図-6、図-7参照】

○宿泊客が宿泊エリアに到着した時間は15時~16時台、同じく宿泊エリアから出た時

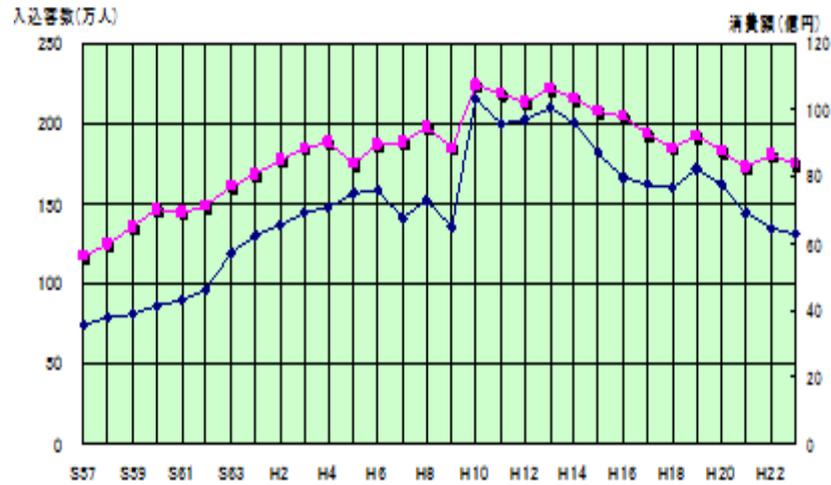
項目の統合による

※

日帰り客追加
宿泊の状況追加

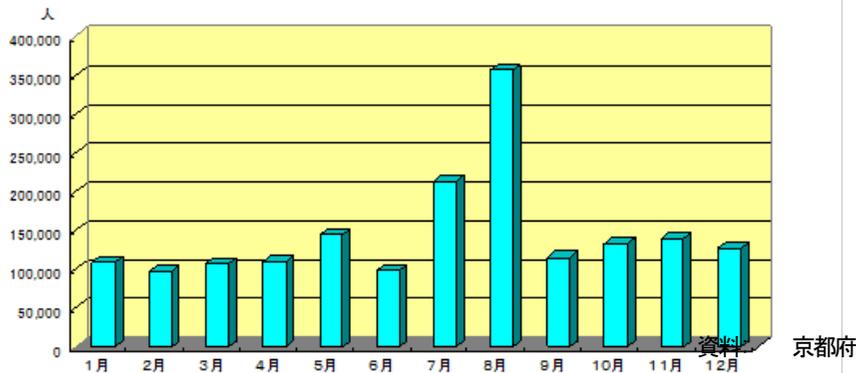
滞在時間の状況追加

◇図一 観光入込客数・観光消費額の推移（S57～H23）



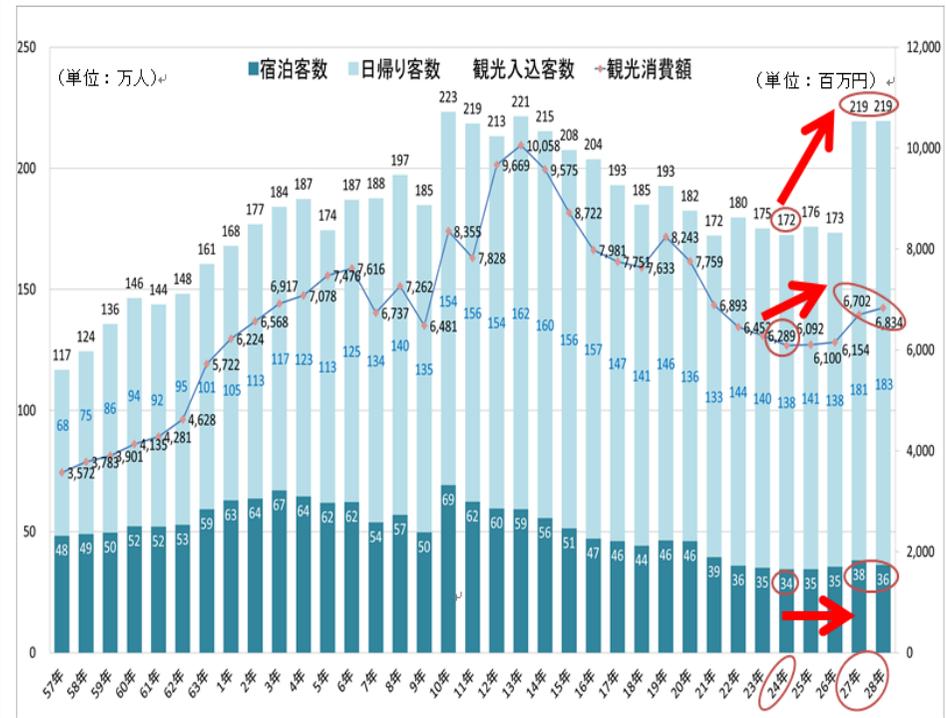
◇図一 5 平成23年観光入込客数（月別）

※年間入込客数 1,752,115人



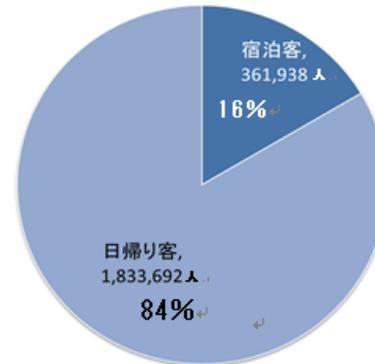
資料 京都市

◇図二 京丹后市観光入込客数・観光消費額の推移（昭和57年～平成29年）



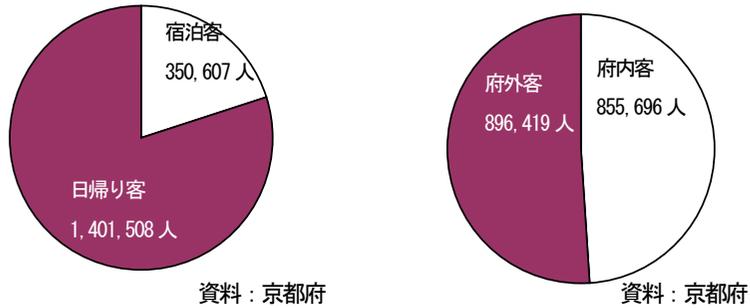
出典：京都市観光入込客調査報告書

◇図一 3 平成28年京丹后市観光入込客数（宿泊客・日帰り客別）



※出典：京都市観光入込客調査報告書

◇図-6 平成23年観光入込客数（宿泊客・日帰り客別、府内客・府外客別）



◇図-7 平成23年観光客1人あたり消費額◇

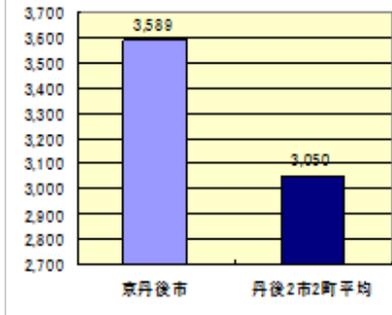
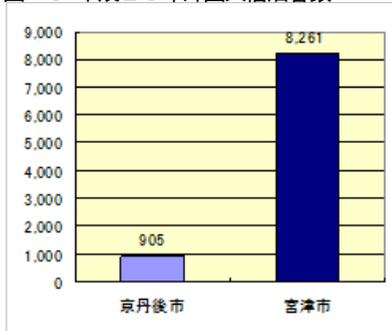
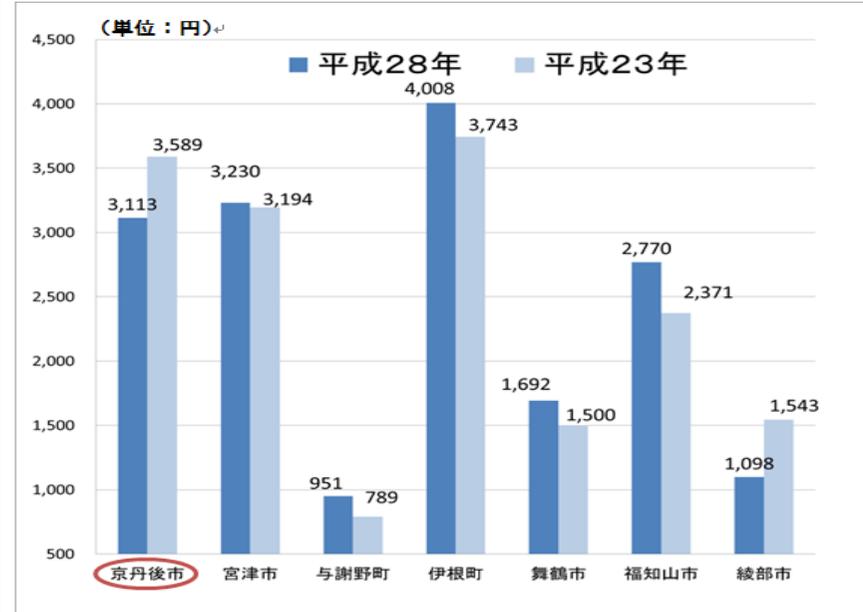


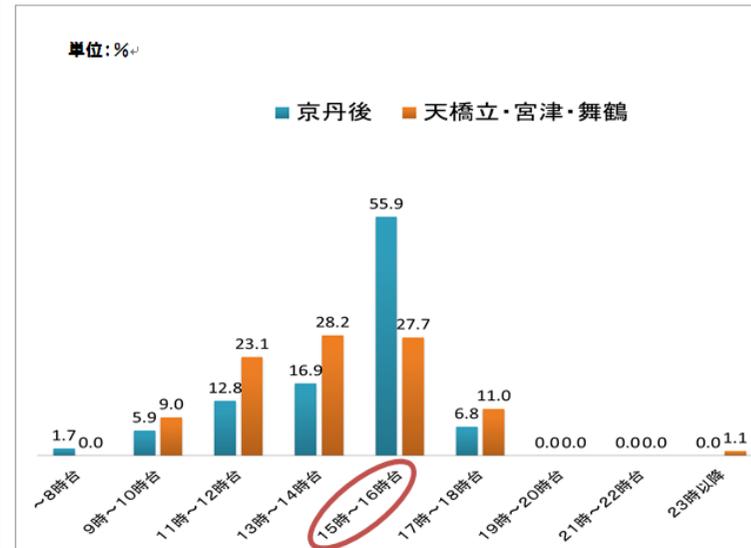
図-8 平成23年外国人宿泊客数



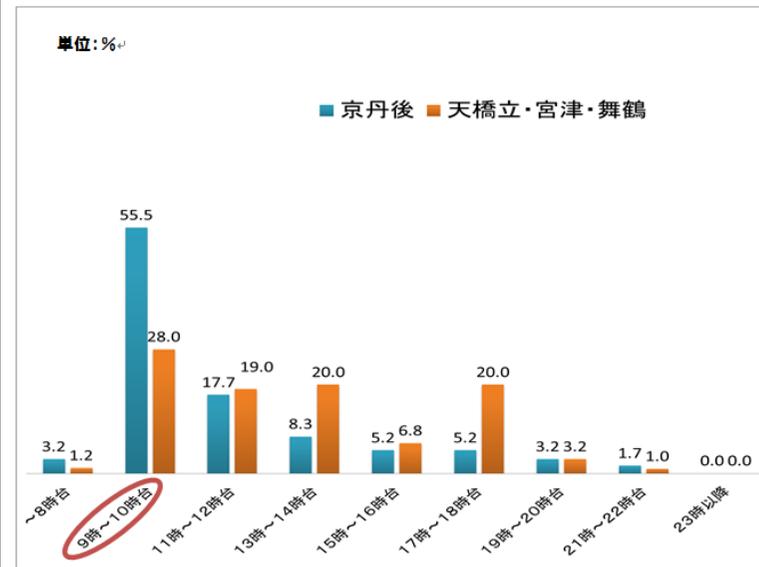
◇図-4 観光客一人あたり消費額・他市町との比較（平成23年・平成28年）



◇図-5 宿泊客が宿泊エリアに到着した時間

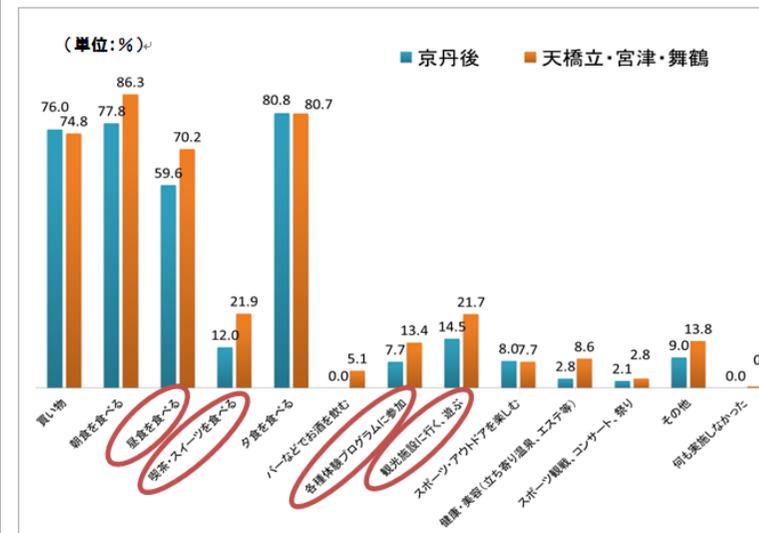


◇図-6 宿泊客が宿泊エリアから出た時間



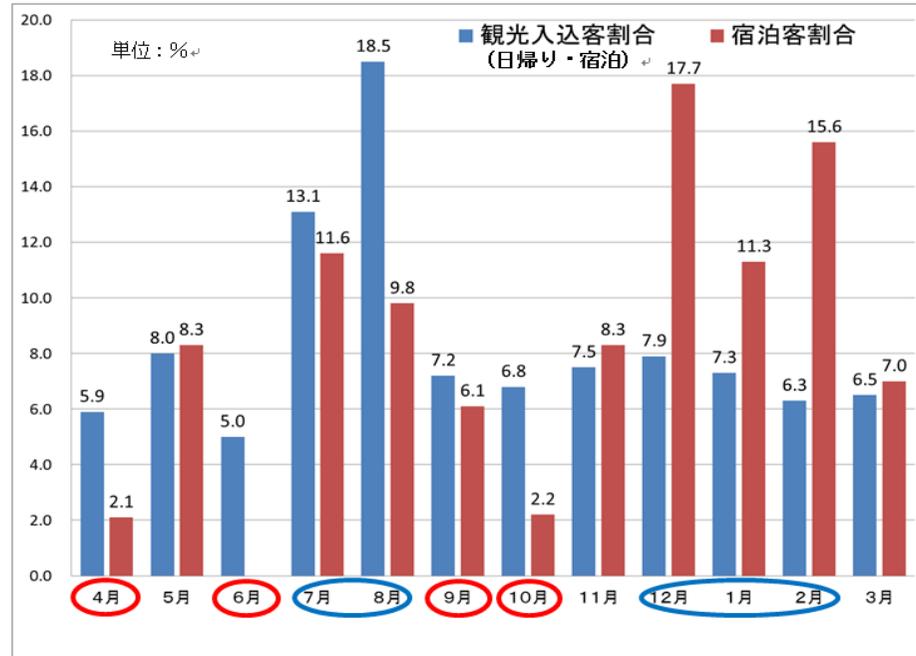
※出典:じやらんリサーチセンター
「じやらん宿泊旅行調査2016」

◇図-7 宿泊旅行の際に実施したこと



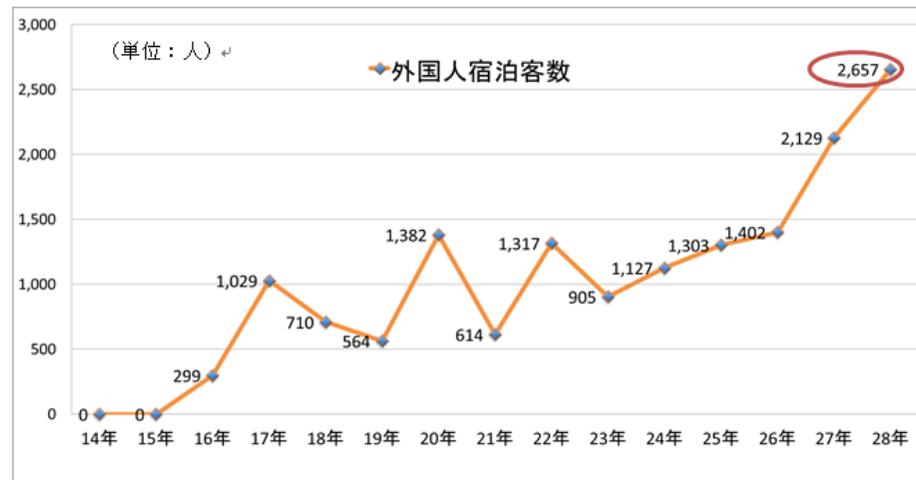
※出典:じやらんリサーチセンター
「じやらん宿泊旅行調査2016」

◇図—8 観光客の月別割合（観光入込客、宿泊客別）



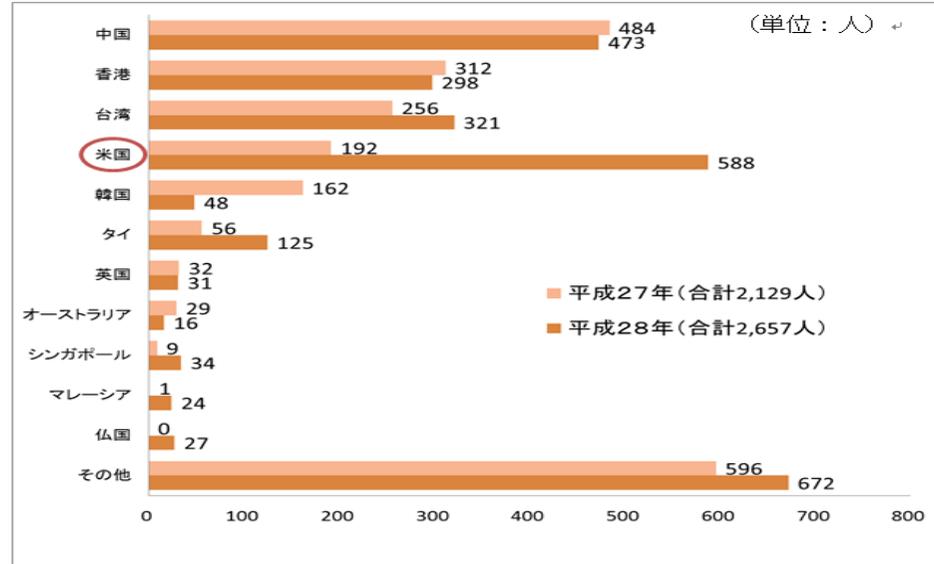
・観光入込客（平成28年1月～12月）※出典：京都府観光入込客調査報告書
 ・京丹後への宿泊旅行の実施時期（平成27年4月～平成28年3月）
 ※出典：じゃらんリサーチセンター「じゃらん宿泊旅行調査2016」

◇図—9 京丹後市外国人宿泊客数の推移（平成14年以降）



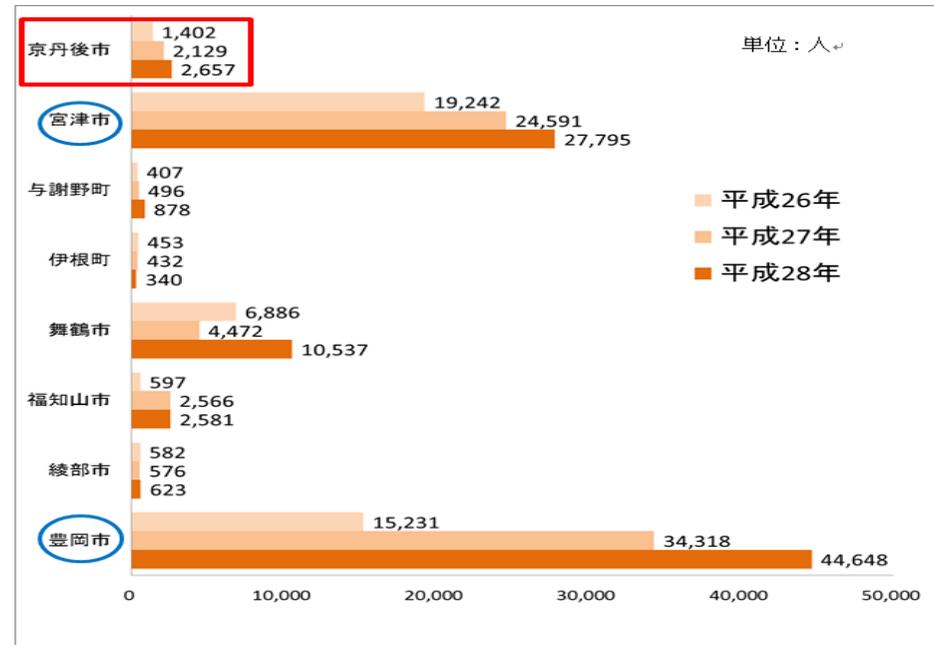
※出典：京都府観光入込客調査報告書

◇図-10 京丹後市外国人宿泊客の国・地域別人数（平成27年・平成28年）



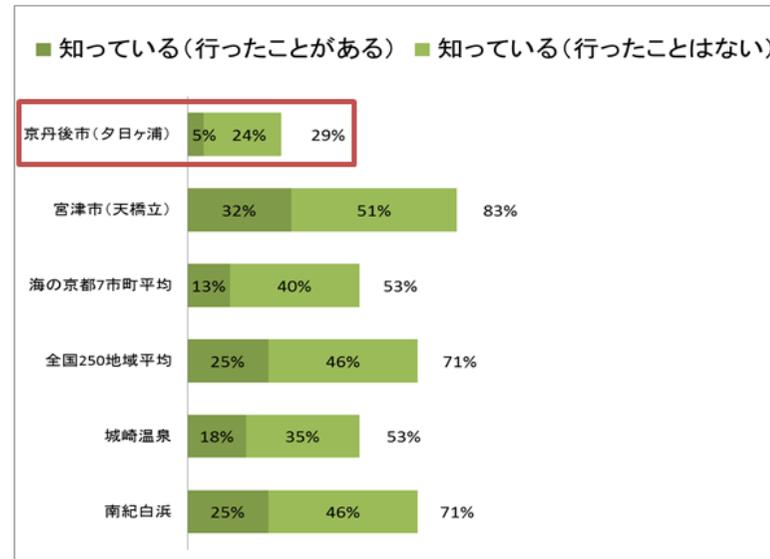
※出典：京都府観光入込客調査報告書

◇図-11 外国人宿泊客数・他市町との比較（平成26年～平成28年）



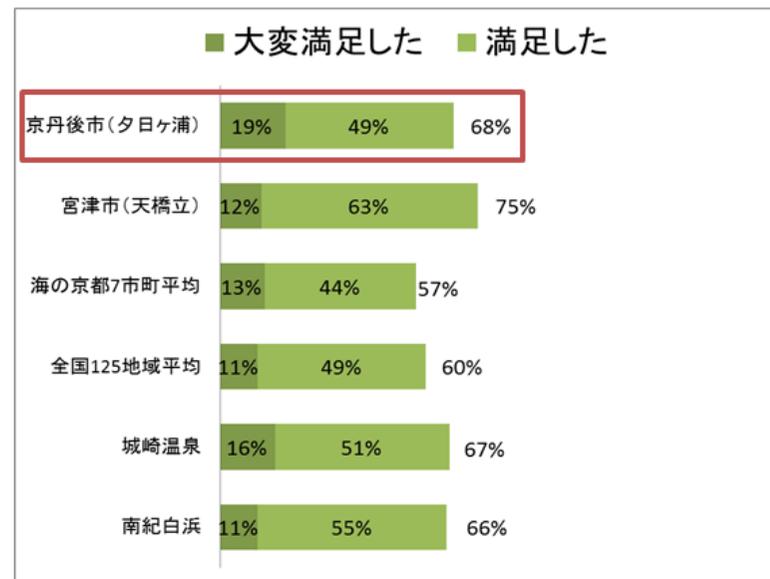
※出典：京都府観光入込客調査報告書・豊岡市

◇図-12 観光地の認知度 (全国)



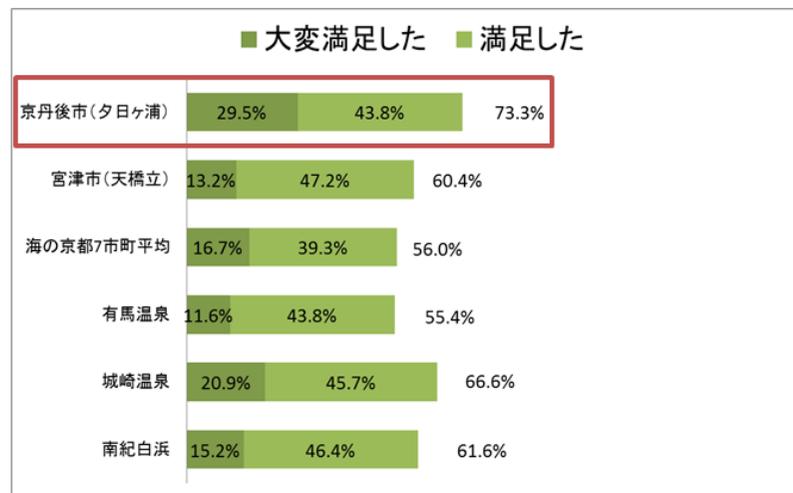
※出典:「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査 (2017.3)

◇図-13 来訪者のトータル満足度 (全国)



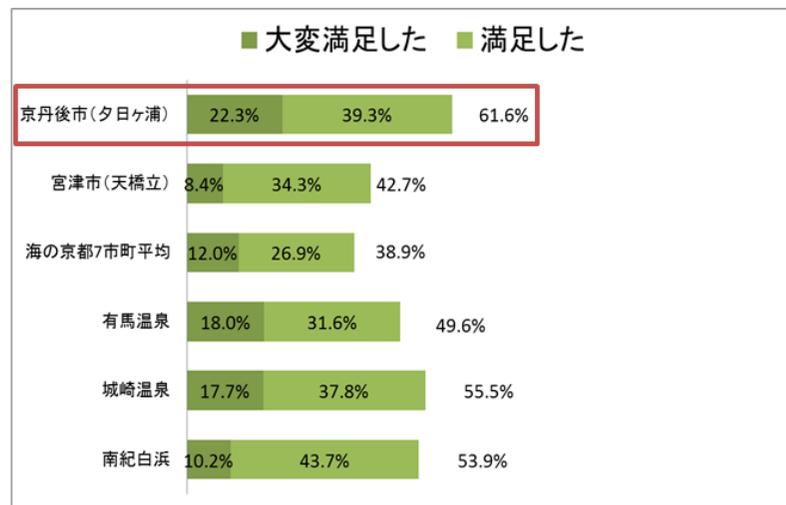
※出典:「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査 (2017.3)

◇図-14 来訪者の「地域の料理・食材」に対する満足度(全国)



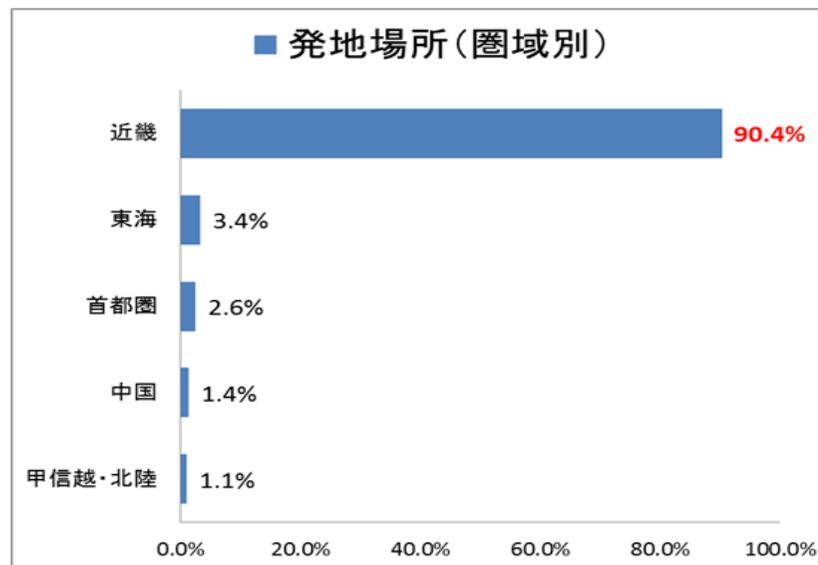
※出典：「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査（2017.3）

◇図-15 来訪者の「宿泊施設」に対する満足度(全国)



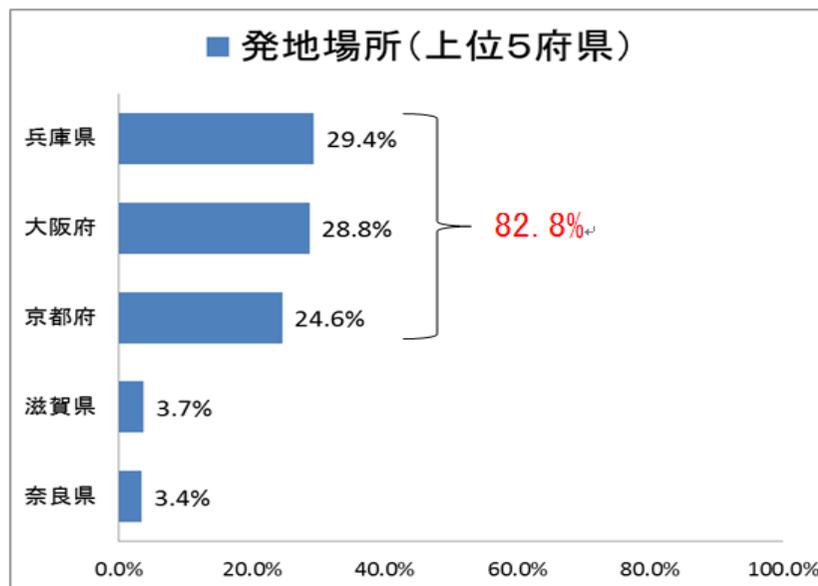
※出典：「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査（2017.3）

◇図-16 観光客の発地場所（圏域別）



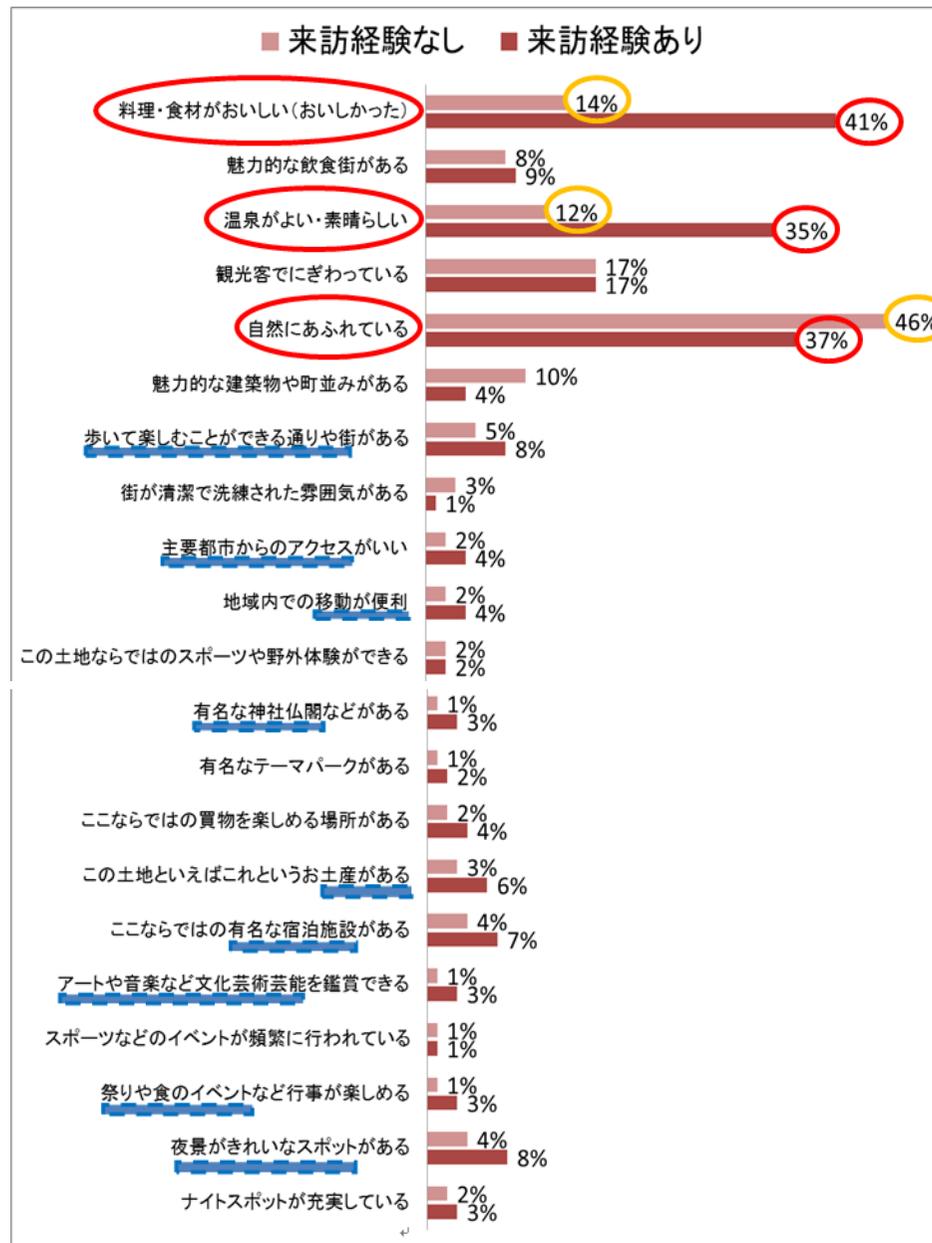
※出典：「海の京都」海の京都エリア観光動態調査レポート資料（2017.1）

◇図-17 観光客の発地場所（上位5都道府県）



※出典：「海の京都」海の京都エリア観光動態調査レポート資料（2017.1）

◇図-18 京丹後のイメージ（来訪経験なし、来訪経験あり別）



※出典：「海の京都」観光地域づくり戦略マーケティング調査（2017.3）

(3) 観光施設などの利用状況

① 観光施設などの状況と特徴

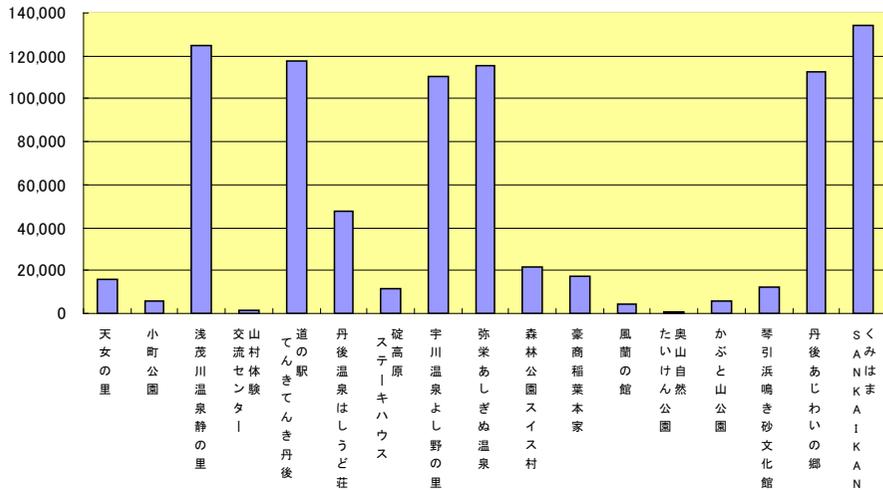
○公共観光施設については、平成18年9月から指定管理者制度※を導入し、民間活力による利用増進を図っています。

○種別では、道の駅がこの5年間ほぼ増加傾向を保っているものの、アウトドア施設を含め他については、市全体の入込客数同様減少傾向にあります。

○海水浴場の入込客数は年々減少しています。昭和50年代と比較すると近年は半数を下回っており、少子化、レジャー・休暇の過ごし方の多様化の影響が現れています。

◇図-9 平成23年主要観光施設の利用状況

資料：京丹後市観光振興課



(3) 観光施設などの利用状況

① 観光施設などの状況と特徴

○公的観光施設については、平成18年9月から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウによる利用増進を図っています。

○市内の道の駅(3施設)の利用者数(入込客数)は、増加傾向にあり、特に平成27年4月にリニューアルオープンした、西日本最大級の道の駅「丹後王国『食のみやこ』」は、平成28年で45万人を超過入込みとなっています。

○アウトドア施設を含め他の観光施設については、入込客数は減少傾向にあります。

※

※

海水浴場は「(2)観光入込客数と観光形態の状況」で記述

(4) 観光業を取り巻く雇用の状況

① 「人手不足」の傾向が進んでいます。 【図-19参照】

○有効求人倍率が平成26年頃から1.0倍を常に上回り、平成29年9月には1.58倍となるなど、全職業トータルで見ると「人材不足」の傾向が顕著となっています。

② 観光関連(飲食物料、接客・給仕)の職業は、さらに「人手不足」の状況です。

【図-20、図-21、図-22、図-23参照】

○「飲食物料の職業」の有効求人倍率は、常用が2.33倍、パートが5.78、「接客・給仕の職業」では、常用が3.52、パートが7.81となっており、観光に関連する職業においては、さらに深刻な「人手不足」の状況です。

◇図-19 京丹後市の有効求人倍率の推移 (全職業)



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

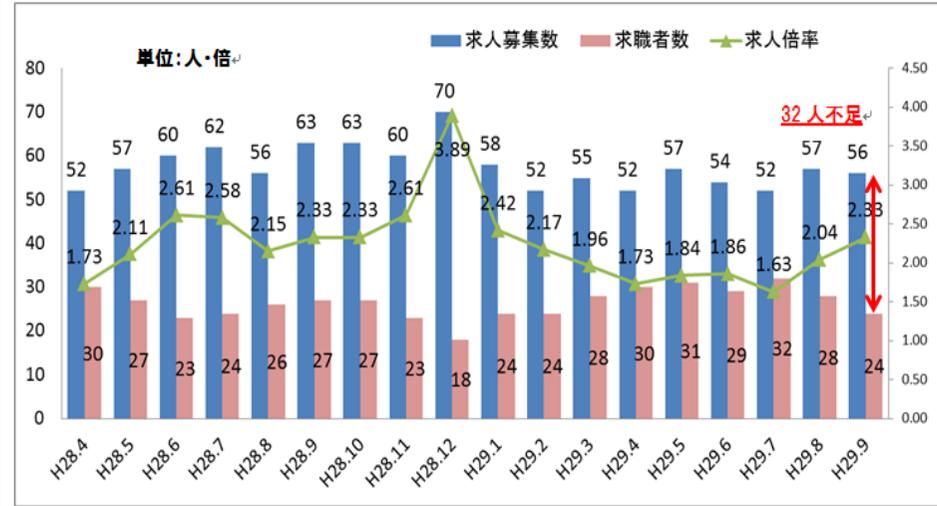
②主要観光施設利用状況の推移

◇表-1 アウトドア・体験施設利用状況の推移

資料：京丹後市観光振興課

施設名	区分	19年	20年	21年	22年	23年
天女の里	入込客数	20,278	20,277	18,654	16,161	16,547
	対前年比	117.7%	100.0%	92.0%	86.6%	102.4%
森林公園スイス村	入込客数	14,191	19,201	16,886	21,886	13,735
	対前年比	72.0%	135.3%	87.9%	129.6%	62.8%
奥山自然たいけん公園	入込客数	2,863	3,044	1,437	1,067	1,440
	対前年比	100.1%	106.3%	47.2%	74.3%	135.0%
かぶと山公園	入込客数	4,679	4,562	5,612	5,730	6,210
	対前年比	93.3%	97.5%	123.0%	102.1%	108.4%

◇図-20 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（飲食物料理の職業・常用）



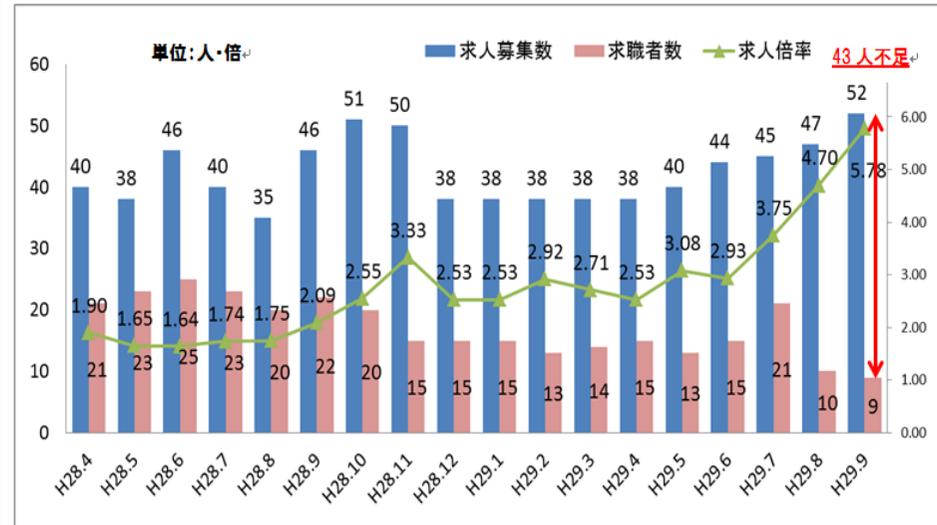
※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

◇表-2 宿泊施設利用状況の推移

資料：京丹後市観光振興課

施設名	区分	19年	20年	21年	22年	23年
山村体験交流センター	入込客数	3,313	2,433	2,680	1,703	1,358
	対前年比	89.2%	73.4%	110.2%	63.5%	79.7%
丹後温泉はしうど荘	入込客数	56,035	50,695	50,029	47,512	47,225
	対前年比	90.3%	90.5%	98.7%	95.0%	99.4%
宇川温泉よし野の里	入込客数	116,318	108,812	119,316	110,085	94,414
	対前年比	106.0%	93.5%	109.7%	92.3%	85.8%
風蘭の館	入込客数	6,542	6,367	6,950	4,569	3,486
	対前年比	97.4%	97.3%	109.3%	65.7%	76.3%

◇図-21 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（飲食物料理の職業・パート）



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

※全施設とも食事客、丹後温泉はしうど荘、宇川温泉よし野の里は外湯利用者を含む

◇表—3 外湯施設利用状況の推移

資料：京丹後市観光振興課

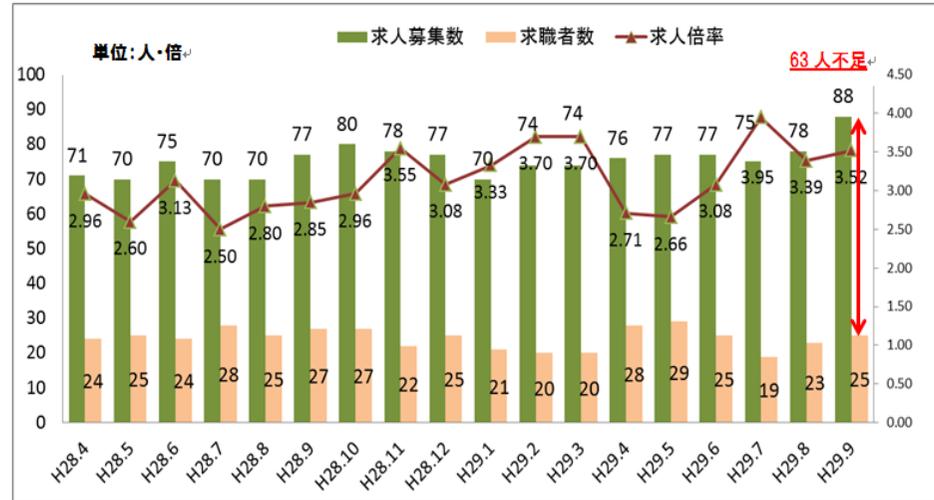
施設名	区分	19年	20年	21年	22年	23年
浅茂川温泉	入込客数	143,462	137,160	129,765	125,092	123,277
	対前年比	104.2%	95.6%	94.6%	96.4%	98.5%
弥栄あしぎぬ温泉	入込客数	111,077	116,648	114,276	115,455	117,057
	対前年比	103.3%	105.0%	98.0%	101.0%	101.4%
おおみや小町温泉	入込客数	63,243	65,615	33,652	52,922	62,877
	対前年比	94.6%	103.8%	51.3%	157.3%	118.8%

◇表—4 その他観光施設利用状況の推移

資料：京丹後市観光振興課

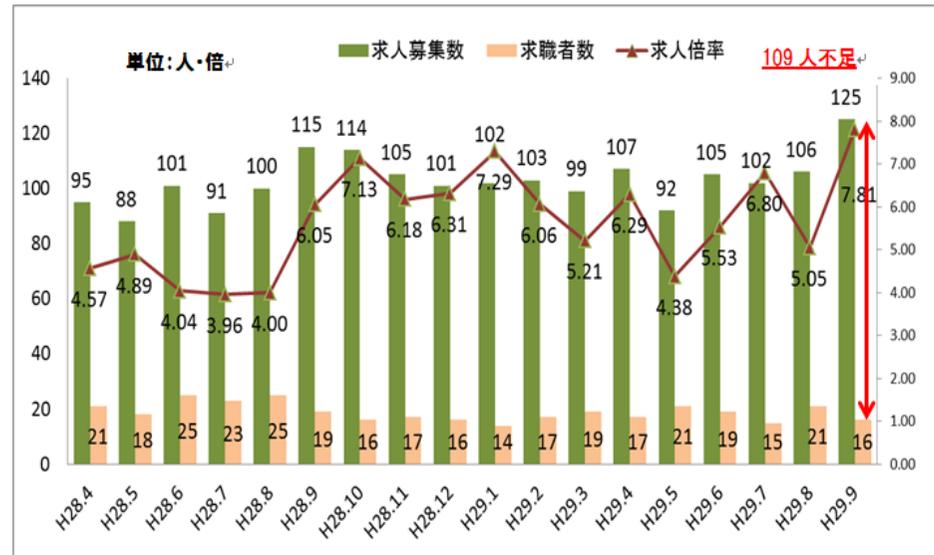
施設名	区分	19年	20年	21年	22年	23年
小町公園	入込客数	7,610	6,813	7,463	5,880	4,743
	対前年比	151.7%	89.5%	109.5%	78.8%	80.7%
道の駅てんき丹後	入込客数	131,976	117,464	116,916	117,846	116,212
	対前年比	108.9%	89.0%	99.5%	100.8%	98.6%
碓高原ステーション	入込客数	15,125	13,403	13,489	11,581	8,350
	対前年比	88.7%	88.6%	100.6%	85.9%	72.1%
豪商稲葉本家	入込客数	20,485	20,921	19,608	17,261	19,894
	対前年比	109.0%	102.1%	93.7%	88.0%	115.3%
琴引浜鳴き砂文化館	入込客数	15,074	13,613	12,918	12,099	11,863
	対前年比	107.5%	90.3%	94.9%	93.7%	98.0%
丹後あじわいの郷	入込客数	84,856	86,792	91,479	112,688	107,050
	対前年比	93.4%	102.3%	105.4%	123.2%	95.0%
くみはまSANKAIKAN	入込客数	112,774	120,797	79,855	133,957	162,186
	対前年比	98.4%	107.1%	66.1%	167.8%	121.1%

◇図—2 2 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（接客・給仕の職業・常用）



※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

◇図—2 3 求人募集数・求職者数・求人倍率の推移（接客・給仕の職業・パート）

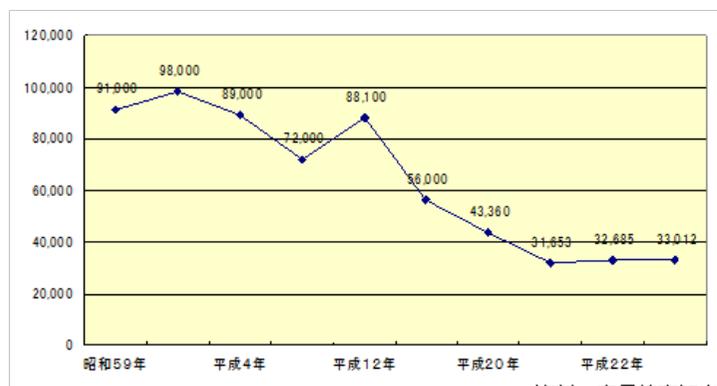


※出典：ハローワーク峰山発行の「月報峰山速報」

◇表—5 海水浴場入込客数の推移—1（全海水浴場） 資料：京丹後市観光振興課

海水浴場名	19年	20年	21年	22年	23年
浜詰	44,160	48,134	27,510	37,904	33,735
浅茂川	18,500	16,650	9,324	13,986	12,867
小浜	10,380	10,158	5,485	7,974	6,698
掛津・遊	47,130	43,360	31,653	32,685	33,012
砂方	3,292	4,872	4,677	5,982	5,085
後ヶ浜	13,542	2,438	2,316	3,474	3,717
竹野	1,022	1,308	1,112	1,422	1,436
中浜	4,384	4,293	3,220	2,553	2,272
久僧	1,811	2,628	1,130	1,445	1,517
平	21,541	30,804	25,875	30,995	30,065
蒲井浜	5,054	4,599	1,932	2,471	2,224
小天橋	34,666	34,319	17,503	22,448	23,121
葛野浜	29,975	28,177	20,569	26,307	23,150
箱石浜	2,107	1,854	1,168	1,494	1,584
合計	254,374	259,295	153,473	191,140	180,483

◇図—10 海水浴場入込客数の推移—2（掛津・遊海水浴場、昭和59年以降）



資料：京丹後市観光振興課

<更新>
※「参考資料」へ移行

◇表—6 特徴的な観光資源

テーマ	観光資源の名称など	指定、登録など
自然	京丹後市全域の特徴的地質、地形(鳥取市から京丹後市の範囲)	山陰海岸ジオパーク※世界ジオパークネットワーク加盟認定、日本の地質百選
	八丁浜から経ヶ岬までの海岸及び一部山間部	丹後天橋立大江山国定公園
	八丁浜から久美浜までの海岸部	山陰海岸国立公園
	国道178号 (丹後町、網野町、久美浜町)	日本風景街道※「古代ロマン街道」
	経ヶ岬灯台	日本の灯台50選、京都百景 近代化産業遺産群 続33
	立岩・屏風岩・丹後松島・経ヶ岬の海岸景観	京都府景観資産
	丹後松島	京都百景
	立岩	京都百景
	琴引浜（鳴砂）	国指定天然記念物及び名勝、日本の白砂青松百選、日本の渚百選、残したい日本の音風景百選、日本最良、最大の鳴砂の浜
	琴引浜の白砂青松と鳴砂	京都府景観資産
	夕日ヶ浦の夕日	日本の夕陽百選
	小天橋	日本の水浴場88選、北近畿一のロングビーチ
	内山ブナ林	北近畿最大級の面積
	離湖	京都府内最大の淡水湖
	トウテイラン	近畿一の群生地、日本固有種
	温泉	源泉数京都府一、木津温泉は京都府最古
郷村断層	国指定天然記念物	
文化	袖志の棚田	日本の棚田百選
	久美浜湾の牡蠣の養殖景観	京都府景観資産、京都府文化的景観
	御旅市場	日本一短いアーケード
	丹後ちりめん	日本一の絹織物生産地
琴引浜鳴き砂文化館	世界で唯一の鳴砂専門の資料館	
歴史	網野銚子山古墳	日本海側最大規模の前方後円墳、国指定史跡
	赤坂今井墳墓	国内最大級の方形墳墓、国指定史跡
	方格規矩四神鏡	日本最古の紀年銘鏡
	浦嶋伝説	日本最古の浦嶋伝説の地
	羽衣伝説	日本最古の羽衣伝説の地

<更新>

※「参考資料」へ移行

	<u>月の輪田</u>	<u>日本の稲作発祥伝説の地</u>
食	<u>丹後産コシヒカリ</u>	<u>食味ランキング※最高評価「特A」ランク</u>
	<u>ばら寿司</u>	<u>丹後の伝統郷土料理</u>
	<u>間人ガニ</u>	<u>こだわりのブランドガニ</u>

※テーマ別観光資源一覧は参考資料を参照

(5) 主要観光施策

第1次京丹後市総合計画・後期基本計画では、観光の振興に関する「9つの施策方針」を打ち出しています。

施策方針ごとの主要な取り組み状況は次のとおりです。

①「極上のふるさと観光づくり」の実現

事業名	実施年度	実施状況
<u>山陰海岸ジオパーク推進事業</u>	<u>20~</u>	<u>世界ジオパークネットワークへの加盟を認定された「山陰海岸ジオパーク」の地質遺産を活用し、全国的、世界的な発信と保全に努めるほか、普及啓発、ガイド養成講座、教育活動として大地の学習などを実施</u>
<u>農林水産業連携事業</u>	<u>19~</u>	<u>猪、鹿、サワラ、かにまんなどの新たな特産品の創出や、農業体験、漁業体験など各種メニューの実施</u>
<u>花めぐりパンフレット作成</u>	<u>19</u>	<u>市内の四季折々の花の名所、魅力を紹介するパンフレットを作成配布</u>

<更新>
※「参考資料」へ移行

(6) 京丹後市の観光を取り巻く主な出来事【過去5年】

- ①府北部7市町が連携する「海の京都」事業がスタート 【平成25年4月】
- ②海の京都観光圏整備計画を国が認定 【平成26年7月】
- ③北近畿タンゴ鉄道が「京都丹後鉄道」として運行を再スタート 【平成27年4月】
- ④京都縦貫自動車道が全線開通 【平成27年7月】
- ⑤山陰海岸ジオパークが「ユネスコ世界ジオパーク」に認定 【平成27年10月】
- ⑥「海の京都」ターゲットイヤー「海の京都博」を開催 【平成27年7月~11月】
- ⑦海の京都DMOが発足（参画） 【平成28年6月】
- ⑧※豊岡DMOが発足（参画） 【平成28年6月】
- ⑨山陰近畿自動車道「京丹後大宮インターチェンジ」開設 【平成28年10月】
- ⑩「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定 【平成29年4月】
- ⑪山陰海岸ジオパークが国内審査において「条件付き」再認定 【平成29年9月】

<削除>

主な出来事のみ掲載し、主要観光施策は削除(「課題」での整理と重複のため)

※一般社団法人豊岡観光イノベーション(以下「豊岡DMO」という)

削除

②地域資源の保全と活用

事業名	実施年度	実施状況
山陰海岸ジオパーク推進事業	20~	世界ジオパークネットワークへの加盟を認定された「山陰海岸ジオパーク」の地質遺産を活用し、全国的、世界的な発信と保全に努めるほか、普及啓発、ガイド養成講座、教育活動として大地の学習などを実施

③歴史文化の保全と活用

事業名	実施年度	実施状況
京丹後七姫パンフレット作成	18	市内に伝承されている七人の姫及びそのゆかりの地などを紹介するパンフレットを作成配布

④観光資源のネットワーク

事業名	実施年度	実施状況
観光フォトコンテスト	18・19	市内観光資源の再発見と入賞写真の活用による観光資源の効果的発信

⑤四季型滞在観光の推進

事業名	実施年度	実施状況
インバウンド推進事業	22~	海外旅行会社を招聘した京丹後市へのツアー造成、外国人旅行者受入れのためのセミナー等を開催
観光圏整備事業	20~	「観光圏」の国指定を受け、丹後3市2町で滞在型の観光地づくりを目指し、広域による各種関連事業を実施
体験型観光推進事業	20~	市内、関係団体などと連携しながら四季を通じての体験メニューづくりなどの実施
観光の魅力づくり等推進事業	16~	入湯税を活用した観光インフラ※整備、観光振興に寄与するイベントなどへ補助金を交付し、年間通じた観光振興を図る
丹後あじわいの郷支援事業	16~	観光の中核施設であり、四季の自然の魅力あふれる丹後あじわいの郷の運営補助

⑥健康志向に対応した観光の推進

事業名	実施年度	実施状況
スポーツイベント実施	16~	歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン、ドラゴンカヌー大会、グランフォンドなど

⑦環境先進地としてのエコツーリズム※の推進

事業名	実施年度	実施状況
-----	------	------

<削除>

環境PR及びエ コ体験推進	16～	琴引浜の鳴砂、エコエネルギー施設などを観光素材としてPRするとともに、環境学習ツアー、各種体験の実施
------------------	-----	--

⑧情報発信の強化

⑨ 交流の機会づくり

事業名	実施年度	実施状況
観光パンフレ ット作成事業	16～	「極上のふるさと京丹後」、「ほんもの出会い旅」、「京丹後七姫伝説」、「花めぐり」、「湯けむり案内状」、「ステラ」（大河ドラマ「義経」巧名ヶ辻版）、「とっておき処マップ」、「オプション体験ツアー」など
ホームページ 発信事業	16～	京丹後市ホームページにおける「観光情報」の充実強化（スポット、イベント紹介、パンフレット電子ブックなど）
観光サイン整 備事業	16～	市内主要道路沿い、駅に統一デザインによる観光案内看板を設置し、市のイメージ発信、観光客の利便性向上を図る
事業名	実施年度	実施状況
イベント実施	16～	歴史街道丹後100km ウルトラマラソン、フェスタ飛天、ドラゴンカヌー大会など
教育旅行等誘 致促進事業	22～	市内体育施設、文化施設、宿泊施設等の情報を掲載したパンフレットを作成し、学校等への訪問活動を実施

(6) 観光客の評価

平成21年から22年にかけて、丹後広域観光キャンペーン協議会※が、丹後地域（舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝郷町）を訪問された旅行者等に、現状把握や具体的なニーズの調査を行った結果（その中から下記調査を参照）を基に、丹後地域観光客の評価について分析しました。

<削除>

調査データは「参考資料」
へ移行

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>A <u>春季調査 (以下、「春季」という)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>実 施 日</u> 平成22年5月21日～6月30日 ・ <u>調査対象</u> 宿泊を伴う訪問者 ・ <u>サンプル</u> 203組 <p>B <u>夏季調査 (以下、「夏季」という)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>実 施 日</u> 平成21年8月9日～8月31日 ・ <u>調査対象</u> 宿泊を伴う訪問者 ・ <u>サンプル</u> 281組 <p>C <u>秋季調査 (以下、「秋季」という)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>実 施 日</u> 平成21年10月19日～11月10日 ・ <u>調査対象</u> 宿泊を伴う訪問者 ・ <u>サンプル</u> 174組 <p>D <u>冬季調査 (以下、「冬季」という)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>実 施 日</u> 平成21年1月5日～2月27日 ・ <u>調査対象</u> 宿泊を伴う訪問者 ・ <u>サンプル</u> 293組 <p>◇<u>図11-① 丹後地域への旅行の目的</u></p> <p>◇<u>図11-② 旅行社の滞在日数</u></p> <p>◇<u>図11-③ サービスへの期待度と満足度</u></p> <p>◇<u>図11-④ リピート※割合 (インターネットリサーチ※による)</u></p> <p>◇<u>図11-⑤ アクセス手段</u></p> <p>(7) <u>観光客がもつ観光資源への興味 (京丹後市ギャップ調査)</u></p> <p><u>京丹後市ギャップ調査とは、京丹後市への観光客が何を体験し、どんな観光資源に興味を持っているか。またその満足度合いなどを調べたものです。</u></p> <div data-bbox="58 1018 896 1340" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><u>「対象者」</u></p> <p><u>調査期間</u> : 平成24年9月</p> <p><u>調 査 元</u> : 株式会社リクルート ジャらんリサーチセンター</p> <p><u>調査対象</u> : 1,050人</p> <p><u>抽出条件</u> : <u>関西圏 (京都府・大阪府・兵庫県・滋賀県) 70%</u></p> <p><u>中京圏 (愛知県・三重県) 30%</u></p> <p><u>対象条件</u> : 20歳以上</p> </div> <p>質問 京丹後市の以下のことをご存知ですか？</p> <p>◇<u>図12-①</u></p> <p>質問 京丹後市の観光資源について以下のことをご存知ですか？</p>	<p style="text-align: center;"><削除></p> <hr/> <p style="text-align: center;"><削除></p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>調査データは「参考資料」へ移行</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>(1) 基本方針ごとの実施状況</p> <p><u><基本方針1> かけがえのないふるさとを守り育てる観光を目指します</u></p> <p><u>主な実施事業</u></p> <p><u>テーマ①歴史遺産、地域の「宝」を活かすために、丹後建国1300年記念シンポジウムの開催や、網野桃子山古墳の整備基本計画の策定を行うなど、地域の宝の整備と発信を行いました。</u></p> <p><u>テーマ②ふるさとの物語を伝え感動につなげるため、丹後七姫めぐりマップの作成、大河ドラマの誘致活動、「京丹後市の伝承・方言の刊行」などを行いました。</u></p> <p><u>テーマ③ジオパーク構想を推進し、豊かな自然を守り活かすため、ガイド養成、広報啓発活動、サインや拠点施設の整備、大地の学習フィールドワーク※などを実施し、世界ジオパークネットワークへの加盟認定に向けて取り組みました。</u></p> <p><u>成果と課題</u></p> <p><u>平成22年10月に山陰海岸ジオパーク※が世界ジオパークネットワーク※への加盟を認定されるとともに、丹後建国1300年に向けての歴史を活かす取り組みなどを進めてきました。ジオパークや歴史・伝説といった地域の宝について、その魅力を十分に周知・PRできていないこともあり、観光に活かそうという機運がなかなか盛り上がらない、地域の魅力を語る事ができないといった課題があります。</u></p> <p><u>今後の方向</u></p> <p><u>市観光立市推進条例で規定する「住んでよし、訪れてよし」の魅力ある観光地を目指すためには、地域固有の文化、伝統を継承し、地域に誇りを持って、その魅力を多くの人に語り伝えていくことが大変重要です。そのためにも、宝の整備やジオパーク活動を一層推進するとともに、丹後建国1300年を契機として、かけがえのない日本のふるさとでもある私たちのふるさと丹後を守り育てることが必要です。</u></p> <p><u><基本方針2> 地域資源を活かして未来を拓くほんまもん観光・体験を提供します</u></p> <p><u>主な実施状況</u></p> <p><u>テーマ①海を活かした観光を推進するため、漁業者等と連携を進め、漁船等を活用した遊覧船の運航が地域で始まり、海の魅力やジオパークの魅力をPRすることで、新たな観光素材となりました。</u></p> <p><u>テーマ②農を活かした観光を推進するため、農業者等と連携を進め、新たに5軒の農家漁家民宿が開業するなど、都市部の大学生等に農業体験メニューの提供が始まりました。</u></p> <p><u>テーマ③ものづくり観光を推進するため、丹後ものづくりパークにおける見学やちりめん工場や工房での見学の受入れが行われていますが、利用者は少ない状況にあります。</u></p> <p><u>テーマ④まち歩き観光を推進するため、地域におけるまち歩きマップの作成やガイド養成講座の実施、ジオトレッキング※の実施などが新たに行われました。</u></p>	<p style="text-align: center;"><削除> 「参考資料」へ移行</p>	<p>「参考資料」へ移行</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>テーマ⑤京丹後ブランドとなる土産物づくりにおいては、サワラの活用やご当地バーガーの販売が行われましたが、ブランドとなる土産物づくりまでには至りませんでした。</p> <p><u>成果と課題</u></p> <p>遊覧船の運航、農家・漁家民宿の開業、ジオトレッキングの実施など、新たな観光素材を提供することができました。</p> <p>さらに、地域資源を活かした魅力ある観光商品を造成していくことと、多くの観光客に利用してもらうための、本格的なサービスをいかに提供していくのが課題であります。</p> <p><u>今後の方向</u></p> <p>ふるさとの魅力を味わってもらい、もう一度来たい感動の旅を提供するために、地域の魅力ある歴史、文化、海、農、グルメ、温泉、産業などを、ゆっくりと心温まる案内で満喫してもらう取り組みを一層進める必要があります。四季型・滞在型の観光を進めるためにも、さと歩き※や食の魅力、健康長寿のまちであることや、スポーツを活用した観光振興を図ることが大切です。</p> <p><u><基本方針3> 京丹後人気質をもったもてなし観光と国際観光に取り組みます</u></p> <p><u>主な実施状況</u></p> <p>テーマ①味の極上地づくりについては、サワラ、沖ギス、また養殖が開始されたクロアワビなど地元食材を旅館で味わう旅行商品をKTR企画プランとして販売するなど、観光業と他業種の連携を進めました。</p> <p>テーマ②ゆっくり滞在できる宿泊魅力の向上について、京都府丹後観光圏事業と連携し、丹後一円の特色ある景観、体験、食を楽しみながらゆったりと巡る、連泊滞在コースの開発と発信などに取り組みました。</p> <p>テーマ③ホスピタリティ※の向上に関しては、お茶のみ処、トイレ処として宿を提供する取り組みや、おもてなしセミナーを開催するなど、主に観光業におけるおもてなしの向上に努めました。</p> <p>テーマ④インバウンド※の推進に関しては、市観光協会によるアセアン観光連盟国際会議の誘致・開催や台湾高雄観光協会との友好提携などに取り組み、台湾からツアーが始まっています。</p> <p>テーマ⑤修学旅行の魅力づくりと誘致について、地引網、防潮保安林の整備体験など地域の特色を活かした修学旅行の受入れを実施しています。</p> <p>テーマ⑥快適に移動できる交通環境・サイン※の整備は、上限200円バスの延伸と日帰り温泉への乗り入れなどKTRと観光施設のネットワークを強化、またデザインを統一した観光サインの整備を引き続き行っています。</p> <p>テーマ⑦環境に優しい観光活動の推進については、KTRフラワーオーナー制度による駅舎への花壇整備、グリーンニューディール基金を活用した海岸清掃活動などを推進しました。</p>	<p style="text-align: center;"><削除> 「参考資料」へ移行</p>	

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>成果と課題</p> <p><u>それぞれのテーマごとの取り組みは着実にすすめられ、特に宿のサービスについては、すでに高い評価を得ています。取り組みを通じて、きめ細やかなおもてなしが市民全体のものとなり、国内外を問わず観光客をあたたく受け入れる必要があります。</u></p> <p>今後の方向</p> <p><u>京丹後らしい温かいおもてなしの観光地づくりを進めるため、観光周遊のためのインフラ面として、2次交通や案内看板の整備を促進するとともに、ひとりでも多くの市民がジオパーク※をはじめとした本市の魅力を認識し、自信を持って観光客を受け入れ、もてなすことが出来るようテーマに沿った取り組みの継続が必要です。また、近隣諸国との国際交流を進めるなかで、観光地としてインバウンド※の必要性について改めて認識し、受入体制を整備する必要があります。</u></p> <p><基本方針4> 徹底したマーケティング※手法で戦略的に情報を発信します</p> <p>主な実施状況</p> <p><u>テーマ①観光マーケットの感度を向上させるために、丹後観光旅行調査を実施するなど、観光客ニーズの把握に努めました。</u></p> <p><u>テーマ②訴求力のあるイメージづくりについては、第1次計画のコンセプト「極上のふるさと」を総合パンフレットのタイトルに活用、「きて一な京丹後」をキャッチコピー※として使用しています。</u></p> <p><u>テーマ③ターゲット戦略については、関東圏をターゲットに、著名人をコメンテーターとした情報発信PR事業を丹キャンで実施しました。</u></p> <p><u>テーマ④効果的な情報発信については、丹後七姫である細川ガラシャを主題としたNHK大河ドラマ誘致活動の展開、市内体育施設を活用した合宿誘致活動などを進めてきました。</u></p> <p><u>テーマ⑤情報発信ツールの選択と集中に関しては、パンフレットの整備や京丹後市総合パンフレット「極上のふるさと京丹後」の作成、市ホームページの3ヶ国語(英語、中国語、韓国語)対応などITを活用した情報発信を行いました。</u></p> <p>成果と課題</p> <p><u>キャッチコピーを活用したパンフレットの作成や、ITを活用した情報発信、また情報の多言語化などに取り組んできたところですが、ターゲットとする客層に必要な的確な情報発信が出来るには至っていません。</u></p> <p>今後の方向</p> <p><u>観光客のニーズや動向を的確に把握するとともに、高速道路網の伸展などの交通インフラ整備などを見据えた集客のターゲットエリア、集客のターゲットパーソンを定め、ターゲットごとに本市の豊富な地域資源を組み合わせた魅力的な情報を提供し、認知度と興味度を高め誘客促進につなぐ必要があります。</u></p>	<p style="text-align: center;"><削除> 「参考資料」へ移行</p>	

<基本方針5> 地域が総ぐるみで観光に取り組みます

主な実施状況

テーマ①総合的な観光推進組織づくりについては、京丹後市の観光資源をコーディネートできる人材の採用、京都府観光連盟をはじめとする広域組織との連携に取り組みました。

テーマ②観光活動の原動力となる人材の育成に関して、「ジオコーディネートガイドセミナー」や「おもてなしセミナー」を開催し、人材育成に努めました。

テーマ③観光立市推進条例との連携については、市民、観光関係者対象とした「観光まちづくりフォーラム」などを開催しました。

成果と課題

平成20年4月に発足した京丹後市観光協会を中心として行政、関係団体、観光事業者の連携を図ってきましたが、地域が総ぐるみで観光に取り組むまでには至っていません。市内の観光施設、観光事業者の連携をコーディネートできる人材の育成も含め、観光協会を中心とした観光推進体制が必要です。

今後の方向

観光入込客の減少をくい止め、増加傾向に持っていくためには、市、観光協会等観光関連団体、観光事業者、市民が一体となって取り組む体制が必要です。観光に対する課題や目標を共有し、それぞれの役割を果たしながら、観光商品開発、誘客宣伝、もてなしの向上など一体となった早急な取り組みが必要となっています。

◇表7 市観光振興課の事業実施概要

(単位：千円)

項目	内容	H21	H22	H23
観光協会等支援事業	観光協会活動補助	26,778	31,559	25,202
	パンフレット等作成	5,811	9,387	3,297
	インバウンド※事業	0	0	1,623
観光宣伝活動事業	宣伝活動	1,547	1,180	1,058
	観光団体負担金	8,237	8,134	8,279
	インバウンド推進事業	0	1,918	1,266
観光のまちづくり推進事業	観光振興計画推進	580	142	514
	体験観光推進事業等	4,575	1,579	7,070
	ボンネットバス運行	706	875	0
	観光業等活性化補助	1,000	1,200	1,900

<削除>

<削除>

削除

現 行 (第2次計画)					改正案 (第3次計画)					変更理由等
	観光のまちづくり推進事業補助	5,000	0	0	<削除>					
	教育旅行等誘致促進事業	0	1,191	114						
観光の魅力づくり推進事業	観光インフラ基金を活用した補助	39,823	23,084	18,793						
イベント実施	ウルトラ、ドラゴン、飛天等	6,905	11,345	14,421						
ジオパーク推進事業	ガイド養成、普及啓発	400	5,063	5,886						
	協議会負担金	1,010	2,657	2,657						
	ジオサイト※サイン※整備	1,667	1,192	0						
観光施設整備事業	トイレ、シャワー等整備	68,224	1,105	1,260						
	無電柱化事業	8,400	0	3,570						
	観光案内サイン整備	580	716	1,271						
あじわいの郷支援	運営補助、土地借上料等	33,007	33,004	30,648						
	臨時駐車場撤去整地費	0	20,370	0						
水難対策事業	海水浴場連絡員配置等	11,217	12,243	11,552						
海浜等施設管理事業	海水浴場等海浜施設管理	14,250	14,130	12,680						
	大雨災害ごみ撤去	9,103	0	6,099						
自然公園事業	自然公園施設管理	14,664	12,347	10,914						
指定管理運営事業	運営事業	112,964	113,892	101,632						
	大規模修繕	73,989	51,213	19,595						
観光等施設一般	その他観光施設管理修繕	15,344	31,799	16,431						
	合計	465,781	391,325	307,732						
<p>※平成21年度及び22年度においては、それぞれ135,848千円、53,659千円の臨時対策交付金事業を実施。</p> <p>(2) 総括的な課題の再評価</p> <p>前項の第1次計画の基本方針の実施状況を踏まえ、総括的な課題について再評価を行いました。また、第1次計画期間中の観光入込客数及び宿泊客数が減少傾向にあることから、この状況を改めて課題として加えています。</p> <p>①観光による生活基盤の継承発展が早急に必要です</p>					<p>【課題1】観光客の滞在時間が短く、また、日帰り客数と比較して宿泊客数が伸び悩んでいます。</p> <p><対策の方向性></p>					<p>「課題」及びその「対策の方向性」を簡潔に集約。</p>

現行（第2次計画）	改正案（第3次計画）	変更理由等
<p><u>十分に発揮されていません。京丹後市に訪れる人々の気持ちを大切に、普段の気持ちよいあいさつから接遇、道の案内など様々な点で改善の余地があり、これらに積極的に取り組むことが求められています。</u></p> <p>【課題に関する現状の分析と再評価】</p> <p><u>・基本方針3の実施状況にあるとおり、京丹後市の魅力、観光地での案内など市民が十分には説明できず、観光客に対するもてなしの気持ちの少ないのが現状です。コミュニティービジネス※による地域協働など、地域ぐるみの観光振興をすすめ、もてなしの心を醸成する必要があります。</u></p> <p><u>④外国人旅行者を誘致し、国際観光を推進する必要があります</u></p> <p><u>京丹後市の豊富な観光資源、それを活かした体験やエコの取り組みは、世界へ通用する可能性を秘めています。外国人旅行者は少ないのが現状です。今後は、国の政策と連動したインバウンド※施策やジオパーク※の活用により、外国人旅行者の増加を図り、国際観光・国際交流を推進する必要があります。</u></p> <p>【課題に関する現状の分析と再評価】</p> <p><u>・基本方針3の実施状況にあるとおり、外国人観光客を受け入れる必要性の認識が、観光業者においても高くない現状であり、観光協会と行政によるリーダーシップで意識改革と受入体制の整備を進める必要があります。</u></p> <p><u>・ジオパークは国際的に共有される価値をもっており、これを活かした国際交流に向けた受け入れ態勢の整備と、情報提供が必要です。</u></p> <p><u>⑤地域の魅力・情報を効果的に発信することが重要です</u></p> <p><u>魅力ある京丹後市の資源が、他地域の人々に十分に伝わっていません。普段の当たり前のものであっても、他地域の人々には希少価値として評価されるものが質的、量的に多くあり、これらを限られた予算の中で効果的に活用していくことが求められています。個々の魅力ではなく市域全体で情報を共有し、展開していくことが必要です。</u></p>	<p><u>情報発信を強化する必要があります。</u></p> <p><u>○ ターゲットの嗜好に合った情報を精査し、必要とされる情報発信を展開する必要があります。</u></p> <p><u>○ 情報発信や魅力発信のあらゆる手法を試みる必要があります。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>【課題5】評価が高い「食」の魅力が十分に活用されていません。</p> <p><対策の方向性></p> <p><u>○ 関係者が連携しながら、旬の地元食材の活用を促進する必要があります。</u></p> <p><u>○ 食の魅力をさらに高める商品化やブランド化を進める必要があります。</u></p> <p><u>○ 「旬」でもてなす食の観光」を戦略的に発信する必要があります。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>【課題6】ジオパークが育む地域資源、四季折々の魅力が十分に活かされていません。</p> <p><対策の方向性></p> <p><u>○ 「ユネスコ世界ジオパーク認定」を継続し、発展させる必要があります。</u></p> <p><u>○ 自然、産業など地域の宝を活かした体験や見学メニューを整理し、その活用や販売を増やすことが必要です。</u></p> <p><u>○ 土産物や旅行ツアーなど、民間による“ジオの魅力を活かした「商品化」「経済活動」を促進する必要があります。</u></p> <p><u>○ 四季を通じて楽しめる「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」のさらなる推進を図ることが必要です。（再掲）</u></p>	

現行（第2次計画）	改正案（第3次計画）	変更理由等
<p>【課題に関する現状の分析と再評価】</p> <p>・基本方針4の実施状況にあるとおり、広域組織や団体によるものを含めると、パンフレットやホームページは多種多様にあり、それぞれ観光情報は整理・整備されつつあります。今後は、すべてのターゲットに向け、同一の観光情報を提供するだけでなく、ターゲットの嗜好に合った情報を精査し、必要とされる情報発信を展開する必要があります。</p> <p>⑥アクセスの改善と地域内交通を充実させる必要があります</p> <p>今後、首都圏からの誘客を推進するためには、飛行機など首都圏からのアクセス環境を改善することが重要です。また、市内観光地を結ぶ地域内交通をさらに充実させることにより、観光客の利便性の向上と滞在の促進を図ることが必要です。</p> <p>【課題に関する現状の分析と再評価】</p> <p>・基本方針3の実施状況にあるように、市内の観光地、観光スポットは広範囲にわたって存在しており、宿泊後の市内周遊が困難であるのが現状です。近隣地域とも連携した公共交通の利便性の向上と、統一的な案内看板の設置を進め、観光客の周遊を促進する必要があります。</p> <p>⑦地域や業界、市民が一体となって取り組む体制が必要で</p> <p>6つの地域が合併してできた京丹後市は、地域や観光団体、市民も含めて一体となった観光を振興する体制が確立されていません。事業を推進していくには、地域、業界など関係者が一体となった取り組み体制が必須です。</p> <p>【課題に関する現状の分析と再評価】</p> <p>・基本方針5の実施状況にあるように、観光振興計画の推進体制に弱さが見られるため、計画が実現されるための体制づくりを行う必要があります。</p> <p>⑧縮小する観光客・観光産業を早急に維持拡大基調に戻す必要があります</p> <p>観光客数、宿泊者数、消費金額の減少傾向をくい止め、増加傾向に持っていくことが急務です。</p> <p>【課題に関する現状の分析と評価】</p> <p>・第1次計画の期間における観光入込客数及び宿泊客数については減少傾向にあり、目標数値から乖離しているのが現状です。観光入込客の維持拡大を目指して市、観光事業者、観光関連</p>	<p>【課題7】地域や業界などが一体となって取り組む体制、機運が十分ではありません。</p> <p><対策の方向性></p> <p>○ 地域、業界など関係者とともに、市民が一体となって取り組むための体制構築及び機運を高める必要があります。</p> <p>○ 地域全体で「おもてなし」の質を高める必要があります。</p> <p>【課題8】観光業を支える人材が不足しています。</p> <p><対策の方向性></p> <p>○ I・Uターン促進等による人材の確保や後継者等の育成により、就労の促進を図るとともに、子育て環境など「観光業に携わる女性の働きやすい環境」などを整える必要があります。</p> <p>○ 春、秋の観光客を増やし「四季型の観光地」の実現による通年雇用、正規雇用の増加など、観光業の雇用形態や雇用条件を改善する必要があります。</p>	

この4ステップを図で示すと次のとおりです

◇図-13 アクションプランの見直しのステップ

先度 進捗状況	A (最も高い)	B (高い)	C (普通)	備考
		ステップ1		
完了	4件 終了したため 削除 (泊食分離の課 題は統合)	該当なし	該当なし	
実行中	すべて継続	ステップ2		
着手	すべて継続		該当なし	ステップ3
未着手	新規展開(1件・携帯ナビ)	継続(2件)	困難なものは 削除 (1件)	個別に判断し、新たな展開、継続、削除を検討した。
新規追加	優先度が高く 新規に追加が 必要な事業を 検討提案			
	ステップ4			

<削除>

削除

現行（第2次計画）	改正案（第3次計画）	変更理由等
<p>□年間宿泊客数 現状35万人⇒ 目標45万人</p> <p style="text-align: right;">約29%増</p> <p>「京都府丹後観光圏※」による広域での連泊・滞在の仕組みづくり、体験型観光推進による滞在促進の取り組み、教育旅行・合宿旅行の誘致、農家民泊※、インバウンド※などを推進するとともに、将来を担う宿づくりに重点的に取り組み急激な落ち込みを止め、平成20年度の宿泊者数である約45万人までの回復を目指します。</p>	<p>□年間宿泊客数 現状36万人⇒ 目標46万人</p> <p style="text-align: right;">約28%増</p>	※
<p>□年間外国人宿泊客数 現状 905人⇒目標5,000人</p> <p>年間外国人宿泊者数は、宮津市ではすでに約9,000人となっています。日本への外国人旅行者は順調に伸びており、単独の誘客や広域連携による誘致活動を強化することで、飛躍的な増加を目指します。</p>	<p>□年間外国人宿泊客数 現状2,657人⇒ 目標9,000人</p> <p style="text-align: right;">約238%増</p>	※
<hr/>	<p>□年間観光消費額 現状68億円⇒ 目標85億円</p> <p style="text-align: right;">約25%増</p>	追加
<hr/>	<p>□年間「ジオ・スポーツ」「ジオ・アクティビティ」参加者数</p> <p style="text-align: right;">現状12,686人⇒ 目標 17,000人</p> <p style="text-align: right;">約34%増</p>	追加
<hr/>	<p>□食（地域の料理・食材）に関する観光客満足度 現状73.8%⇒ 目標 80.0%</p> <p style="text-align: right;">約8%増</p>	追加 ※今後調査未定
<hr/>	<p>□京丹後（夕日ヶ浦）の認知度 現状29%⇒ 目標 50%</p> <p style="text-align: right;">約72%増</p>	追加 ※今後調査未定

現 行（第2次計画）	改正案（第3次計画）	変更理由等
<p>3基本方針とテーマ</p> <p><基本方針1> <u>かけがえのない日本のふるさとでもある私たちのふるさと丹後を守り育てる観光を目指します</u> <u>市民や京丹後市出身者、京丹後を訪れた人にとって、京丹後市の海、山やまちはたったひとつしかないかけがえのないふるさとです。</u> <u>ここには、先祖が残してくれた自然、歴史、文化があり、まずこれらを守り育てる観光に取り組みます。</u></p> <p>【テーマ】</p> <p>①<u>丹後王国などの歴史遺産、地域の「宝」を活かします</u> ②<u>ふるさとの物語を伝え感動につなげます</u> ③<u>ジオパーク活動を推進し、豊かな自然を守り活かします</u></p> <p><基本方針2> <u>地域資源を活かして未来を拓くほんまもん観光・体験を提供します</u> <u>京丹後市には、海、山、里の自然、農業、漁業、ものづくり、食、温泉、歴史、まちなどが織り成すここにしかない地域の資源が豊富にあります。</u> <u>これらジオパークの恵みである地域資源にこだわり、活かして、地域の未来を築くために、ほんまもんの観光、ほんまもんの体験を提供します。</u></p> <p>【テーマ】</p> <p>①<u>海の観光</u> ②<u>農の観光</u> ③<u>ものづくり観光</u></p> <p>④<u>さと歩き観光</u> ⑤<u>丹後ブランドとなる土産物づくり</u></p> <p><基本方針3> <u>京丹後人気質をもったもてなし観光と国際観光に取り組みます</u> <u>京丹後人は、勤勉さ、こだわりの真摯さ、地域の結束力などの気質があり、この土地が先祖から受け継いできた心をもって、京丹後市ならではの温かいもてなしを特徴とする観光を創ります。</u> <u>また、「極上のふるさと」を積極的にアピールし、外国人旅行者の誘致に積極的に取り組みます。</u></p>	<p>3 基本方針と<u>基本戦略</u></p> <p><基本方針1> <u>「“旬”でもてなす食の観光」を徹底的に推進します</u></p> <p>【基本戦略】</p> <p>① <u>豊富で質の高い食材の魅力に磨きをかけ、価値を高めます</u> ② <u>旬の地元食材を活用した“地産来消”に取り組みます</u> ③ <u>食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組みます</u> ④ <u>「“旬”でもてなす食の観光」の戦略的な発信とプロモーションを行います</u> ⑤ <u>「“旬”でもてなす食の観光」の戦略を関係者が共有し、機運を高め、一体的に進めます</u></p> <p><基本方針2> <u>地域資源や四季の魅力を活かした「滞在型の観光地」を目指します</u></p> <p>【基本戦略】</p> <p>① <u>「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します</u> ② <u>海、山、里の地域資源を活かした四季折々の“ほんまもん体験”を提供します</u> ③ <u>日本遺産「丹後ちりめん回廊」の織物業や「ハイテクランド」を構成する機械金属業など地域の特色ある産業を活かした「産業観光」を展開します</u> ④ <u>「丹後王国」などの歴史や遺跡、ふるさとの伝説を観光へ活用します</u> ⑤ <u>「海の京都観光圏整備計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります</u></p> <p><基本方針3> <u>外国人旅行者等の誘致を強化します</u></p>	<p>現状課題及びコンセプトに基づく修正</p>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>【テーマ】</p> <p>①味の極上地づくり</p> <p>②ゆっくり滞在できる宿泊魅力の向上</p> <p>③ホスピタリティ※の向上</p> <p>④インバウンド※の推進</p> <p>⑤快適に移動できる交通環境・サイン※の整備</p> <p>⑥修学旅行の魅力づくりと誘致</p> <p>⑦きれいな観光地づくり活動の促進</p> <p>＜基本方針4＞</p> <p>徹底したマーケティング※手法で戦略的に情報を発信します</p> <p>観光客のニーズを把握し、地域の資源を最大限に活かせるテーマ、ターゲットを絞り込み、優先順位、費用対効果などの視点から戦略的に情報を発信します。</p> <p>【テーマ】</p> <p>①観光マーケットへの感度向上</p> <p>②ターゲット戦略</p> <p>③効果的な情報発信</p> <p>④情報発信ツール※の選択と集中</p> <p>＜基本方針5＞</p> <p>地域が総ぐるみで観光のまちづくりを推進します</p> <p>観光は地域が総ぐるみで競争する時代になっており、個々の事業者や地域だけでは限界があります。</p> <p>京丹後市観光立市推進条例に基づき、市民総ぐるみで各地域を超えて市域がひとつとなり、産官、業種、業界、年齢などを超えて観光のまちづくりを推進します。</p> <p>【テーマ】</p> <p>①総合的な観光推進組織づくり</p> <p>②観光活動の原動力となる人材の育成</p>	<p>【基本戦略】</p> <p>① <u>ターゲットを明確にし、外国人旅行者のさらなる誘致に取り組みます</u></p> <p>② <u>海の京都DMO、豊岡DMOなど広域連携によるインバウンドの取組を強化します</u></p> <p>③ <u>外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します</u></p> <p>④ <u>教育旅行の受け入れを積極的に行います</u></p> <p>⑤ <u>ゆっくり滞在できる宿泊、温泉の魅力向上を図ります</u></p> <p>＜基本方針4＞</p> <p>「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」で観光交流人口の拡大を目指します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① <u>2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等を通じた文化交流や地域経済の活性化に取り組みます</u></p> <p>② <u>ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かし、「春・秋」を中心としたスポーツイベントの誘致・支援を行います</u></p> <p>③ <u>ジオパークの魅力を活かした「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」の場や機会を提供します</u></p> <p>④ <u>スポーツイベントの運営を地域で支える体制や経済波及効果による持続可能型の運営の構築に取り組みます</u></p> <p>＜基本方針5＞</p> <p>徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① <u>マーケティング調査による現状分析や実態把握などに基づき、テーマ、ターゲットを絞った情報発信を行います</u></p> <p>② <u>海の京都DMOや豊岡DMOなど、広域連携によるメリットを活かした情報発信を行います</u></p> <p>③ <u>効果的な情報発信ツールを選択し、戦略的な情報発信を行います</u></p>	

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p><基本方針6> 地域総ぐるみによる“観光のまちづくり”を推進します</p> <p>【基本戦略】</p> <p>① <u>海の京都DMOや豊岡DMOなど関係府県市町等との広域的な取組と連携を強化します</u></p> <p>② <u>市観光協会を中心とした地域の観光推進体制の整備と関係団体等との連携を強化します</u></p> <p>③ <u>観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います</u></p> <p>④ “京丹後人気質”による「おもてなし」の向上を図ります</p> <p>⑤ <u>公的観光施設の適切な管理・運営により、良好な利用環境を提供します</u></p> <p>⑥ <u>快適・安全・便利に移動できる交通環境やサイン整備を推進します</u></p> <p>◇ 図-24 「課題」と「基本方針」の相関図</p> <p>【課題1】滞在時間が短く、宿泊客数が伸び悩み</p> <p>【課題2】二季型の観光地</p> <p>【課題3】インバウンドが不十分</p> <p>【課題4】観光地としての認知度が低い</p> <p>【課題5】「食」の魅力活用が不十分</p> <p>【課題6】ジオパークの魅力活用が不十分</p> <p>【課題7】一体となって取り組む体制、機運づくり</p> <p>【課題8】観光業の人材不足</p> <p><基本方針1> 「旬」でもてなす食の観光を徹底的に推進します</p> <p><基本方針2> 地域資源や四季の魅力を活かした「滞在型の観光地」を目指します</p> <p><基本方針3> 外国人旅行者等の誘致を強化します</p> <p><基本方針4> 「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」で観光交流人口の拡大を目指します</p> <p><基本方針5> 徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します</p> <p><基本方針6> 地域総ぐるみによる“観光のまちづくり”を推進します</p>	

第3章 アクションプラン

第3章 戦略プロジェクト

1 重点戦略プロジェクト

1 戦略プロジェクト

重点戦略プロジェクトは、減少傾向を打破するために、多くのアクションプラン※の中から、より具体的に優先して取り組むべき事業を取り上げ、戦略的に早期の効果を得ることをねらっています。

戦略プロジェクトは、前章に掲げた基本方針ごとに、観光事業者、観光関係団体、市民、行政などが取り組むべきプロジェクトで、これに基づく効果的な事業を5年以内に実施することを目標とします。

その中で、基本方針1及び基本方針2を、「重点的かつ優先的な基本方針」として位置付けます。

重点戦略プロジェクト 1 滞在型観光の促進

宿泊施設は、観光活動の中心的な役割を担う重要な拠点です。しかし、近年は宿泊客の長期の減少傾向が見られ、地域産業にも影響が危惧されることから、強みを活かして春秋の誘客などの弱みを克服する具体のプロジェクトに取り組み、四季を通じた滞在型観光を促進します。

<基本方針 1> 「旬」でもてなす食の観光」を徹底的に推進します

【重点・優先】 ※展開イメージ【◇図—25】

◇表8 重点戦略プロジェクト1

事業	内容
1. 冬の力 二誘客強 化	日本一のカニの魅力さをさらに活かして、冬の集客力を高める強化策を打ち出します。 ・日本一のカニの魅力さを国内外にさらにアピール ・カニの料理について、京丹後市ならではの名物の開発 ・冬のカニと連携した京丹後の体験等のコースの開発
2. 日本一 の砂浜海 岸づくり	海岸利用の活性化を図り、年中にぎわう砂浜海岸を目指して、砂浜の環境整備を行い、施設の充実を図り、利便な浜辺づくりを行います。 ・海岸清掃の機械化導入の検討など、保全活動の推進 ・砂浜海岸への遊歩道等の整備、快適なサービス(飲食・レンタル)の提供と利便性の高い施設整備(シャワー、脱衣、休憩など) ・日本一の砂浜海岸としての情報発信
3. フード フェア※ の実施	京丹後市の強みである海山の食材をアピールするフードフェアを宿泊施設で统一的に展開します。冬のカニだけでなく、地産地消を基本にオールシーズンのグルメの魅力さをアピールします。 ・まずは、春と秋の閑散期に食材を限定して、フェアを実施 ・フードフェアの企画会議、マスコミ・旅行代理店などへのPR ・アンテナショップ※、イベントなどでのPR
4. インバ ウンド※ の推進	海外からの誘客を行うための活動を展開します。 ・パワーブローガー※の招致 ・現地キーマンとの交流、提携 ・ビジット・ジャパン事業※など広域連携による誘致展開

■=最優先
□=優先

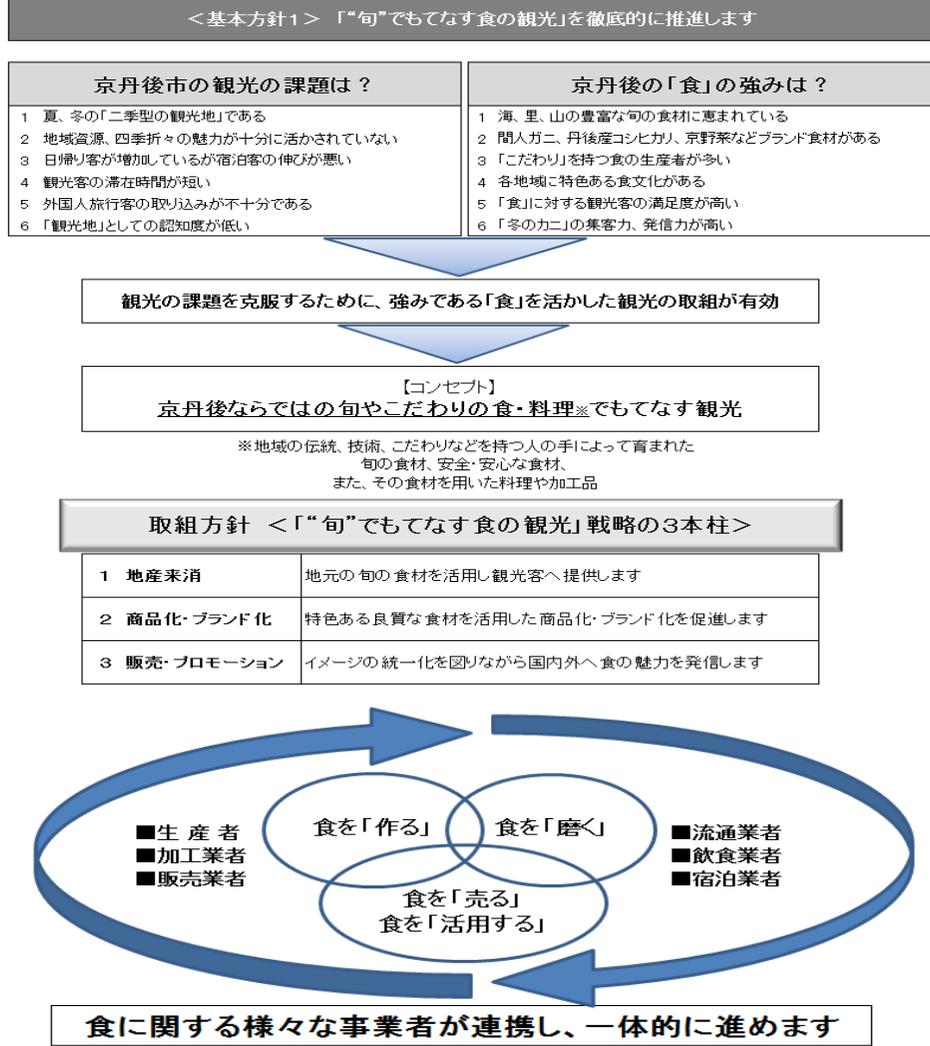
「戦略プロジェクト」に最優先、優先を追加

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業 者	団 体	市 民	行 政
① 豊富で質の高い食の魅力に磨きをかけ、価値を高め	1 農林漁業者、加工業者等の生産、保存、加工、料理技術の向上	◎	○		○
② 旬の地元食材を活用した“地産地消”に取り組	2 飲食店、宿泊施設、土産物店等での旬の地元食材活用、「フードトレイル」の実施など販売の促進 3 市内での地元食材流通の仕組みづくり 4 地元食材の情報の「見える化」	◎	○		○
③ 食を活用した様々な「商品化」と付加価値を高める「ブランド化」に取り組	5 食に関する体験プログラムの提供 6 食に関する共通宿泊プランや旅行商品づくり 7 “健康”、“長寿”、“環境”などを活かす名物となる土産物や料理、食材などの改良、開発 8 新たな“海のブランド食材”の開発	◎	○		○
④ “旬”でもてなす食の観光」の戦略的な発信とプロモーションを行	9 動画、SNSなど効果的な情報発信ツールを活用したPR 10 デザイン性と統一性のあるイメージ戦略の推進	◎	◎	○	◎

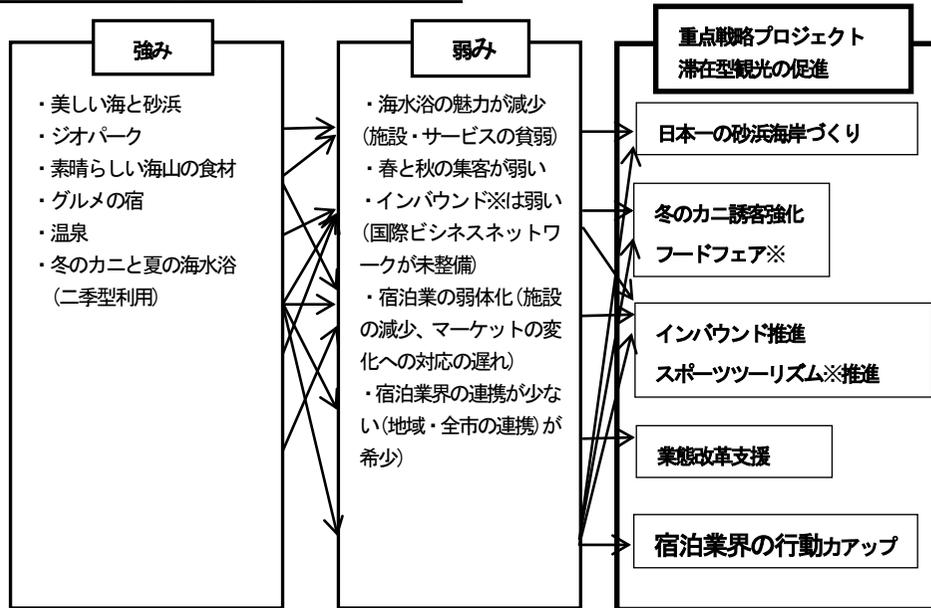
	<ul style="list-style-type: none"> 個人旅行者に向けた、関西国際空港からの送迎バス事業の検討 台湾、中国、及びアセアン諸国等をはじめとする関係国との連携
5. スポーツツーリズム※の推進	<p>スポーツを通じて新しい旅行の魅力を作り出し、地域資源と連携した新しい価値と感動を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン世界大会をはじめ、各種大会の誘致と施設整備の推進 日本一の砂浜海岸を活用した交流の促進
6. 業態改革支援	<p>宿泊業は、日々変化しており、常に改革が求められています。サービス、施設整備、財務、営業展開など様々な改革に対して、コンサルタント派遣や勉強会などを通して、個店の改革を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンサルタント派遣事業 宿泊事業の診断 ホームページの活用など IT 化によるビジネス展開指導など
7. 宿泊業界の行動力アップ	<p>宿泊業界の連携により、地域が一体となった上記の活性化を図るために、情報の共有はもとより、組織的な統合を進めテーマごとの取り組みを図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊業界がまとまった連絡会議の設立 海水浴再生部会、フードフェア※部会、インバウンド※部会、送迎バス検討部会などテーマごとの検討推進組織を設立

	<ul style="list-style-type: none"> 11 食材の魅力、豊かさや食事処、土産処の情報発信 12 都市部での食に関するイベント、マルシェ等の実施、参加 	◎	◎	○	○
⑤ 「旬」でもてなす食の観光	<ul style="list-style-type: none"> 13 食に関する異業種間の事業者連携・交流・研修機会の創出 14 市民、関係者に対する啓発イベント等の実施、参加 	◎	◎	○	◎

◇図-25



◇図-14 強みを活かし弱みを克服する事業



重点戦略プロジェクト 2 世界ジオパーク活動の推進

日本のふるさと京丹後市の四季を通じた魅力を味わってもらい、四季型・滞在型観光を促進するために、ジオパークを活かした地元のガイドによるさと歩き※を、新たな観光シンボルとして開発し、もう一度来たいと思う感動の旅を提供します。歩きながらのきめ細かな心あたまる案内を基本に、ゆっくりと地域の歴史、文化、グルメ、温泉、産業などを味わうコースを提供します。さと歩き観光は、滞在時間を延長し、素通りを減少させ、グルメの案内やお土産物などの消費を活性化させる効果を誘引します。

◇表9 重点戦略プロジェクト2

事業	内容
1.さと歩きコースの開発整備	さと歩きは、サイクリングや徒歩圏内でのコースを前提に、ふるさとの魅力、ジオパークの魅力をガイドを通して提供します。ジオパークを共通に、各地区（久美浜、木津・夕日ヶ浦、網野、琴引浜、間人、峰山など）毎の地域特性に合わせてコースを開発整備します。 ・ジオサイト※を含むモデルコースの開発 ・砂浜海岸への遊歩道等の整備 ・駅前などでの案内拠点整備（網野駅などの案内機能の強化） ・さと歩きマップの作成 ・さと歩きのための案内看板、サイン※などの整備 ・コース内での土産物・名物案内、個店のアピール、体験観光との連携、商店街への誘導、生産現場の見学などの組込み ・無電柱化による景観美化の推進
2.さと歩きガイドの育成・体制づくり	さと歩きのガイドはジオパークの知識も有する必要があるため、事業を左右するキーポイントになるため、地元のガイドの育成を行うとともに受け入れ体制を整備します。 ・ガイド育成講座の開設、認定制度の創設 ・丹後検定の促進と合格者の語り部の活用 ・ガイド組織の整備、予約・受付などのサービス体制づくり ・他地域ガイドとの交流促進
3.グルメの魅力	ジオパークの恵みである京丹後の魅力あるグルメは、特に案内・アピールを徹底する。 ・グルメ店舗の案内、モデルコースへの組込み ・季節の魚、野菜など、おすすめのグルメの魅力を解説
4.PR営業展開	ジオパークを活用したさと歩きを目玉商品として展開するため、PR、営業を行う。 ・宿泊での案内、HPでの紹介など ・マスコミ、雑誌などへの掲載 ・教育旅行等誘致への活用

<基本方針 2> 地域資源や四季の魅力を活かした「滞在型の観光地」を目指します

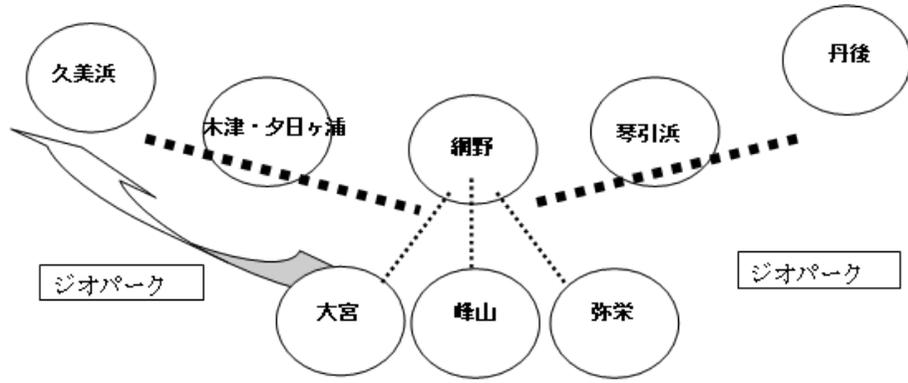
【重点・優先】 ※展開イメージ【◇図-2.6】

■=最優先

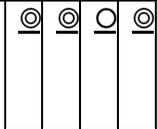
□=優先

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 「ユネスコ世界認定」を受けた「山陰海岸ジオパーク」の資源を守り、積極的に活用します	15 「日本一の砂浜海岸づくり」に向けた砂浜や「ジオサイト」の保全など、自然環境及び景観の保護・保全、清掃活動	○	○	○	○
	16 海浜施設や自然公園施設（トイレ、シャワー、遊歩道など）の適切な維持管理		○		○
	17 市民・関係者へのジオパーク、自然環境保全の普及啓発活動	○	○	○	○
	18 「ジオ」を活用した商品やツアーの開発、イベント実施	○	○		○
	19 観光事業者、農漁業者等の連携による、「ジオ」を活用した体験プログラムの提供	○	○		○
② 海、山、里の地域資源を活かした四季折々の“ほんまもん体験”を提供します	6 食に関する体験プログラムの作成・提供（再掲）	○	○		○
	20 織物業や機械金属業などを活用した、見学、体験、まち歩き、食を組み合わせたツアーなどの提供	○	○		○
③ 日本遺産「丹後ちりめん回廊」の織物業や「ハイテクランド」を構成する機械金属業など地域の特色ある産業を活かした「産業観光」を展開します	21 歴史や文化、遺跡、祭りなど文化財の活用		○		○
	22 京丹後七姫伝説や浦島太郎伝説、鬼退治伝説など、伝説や伝承の活用	○	○	○	○
④ 「丹後王国」などの歴史や遺跡、ふるさとの伝説を観光へ活用します	23 食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり	○	○		○
	24 自然、街並みなど景観の保全・形成とまち歩き・さと歩き観光の推進	○	○	○	○
⑤ 「海の京都観光圏整備計画」を踏まえた「滞在型の観光地」をつくります					

◇図-15 さと歩きガイドのモデル拠点のネットワーク



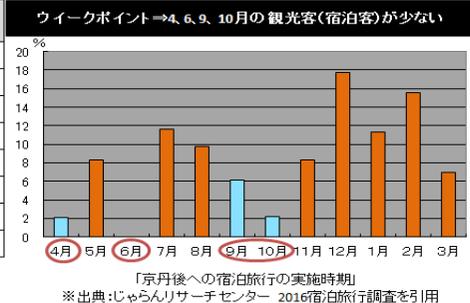
25 「海の京都」京丹後市マスタープランに基づく「戦略拠点」（久美浜・夕日ヶ浦）、「交流地区」（久美浜・網野・丹後）の魅力向上



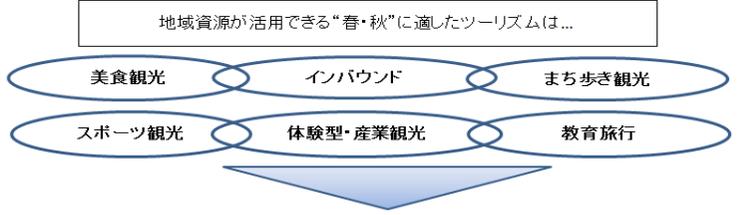
◇図-26

<基本方針2> 地域資源や四季の魅力を活かした「滞在型の観光地」を目指します

- もっと観光に活かすべき、地域資源・四季の魅力は？
- 1 ジオパークに代表される海・山等の“自然”
 - 2 海、里、山の豊富で質の高い“旬の食材”
 - 3 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の“丹後ちりめん”
 - 4 織物業、機械金属業などレベルの高い“ものづくり産業”
 - 5 農業、漁業などを活かした多様な“体験”
 - 6 国内を代表するような“史跡と歴史伝説”
 - 7 通年で利用できる屋内外の“スポーツ施設”
 - 8 旅館、民宿を中心とする170軒の“宿泊施設”



取組テーマ <春・秋を強化する滞在と宿泊の魅力づくり>



それぞれで“春・秋”に照準を合わせたを「アクションプラン」を実行！

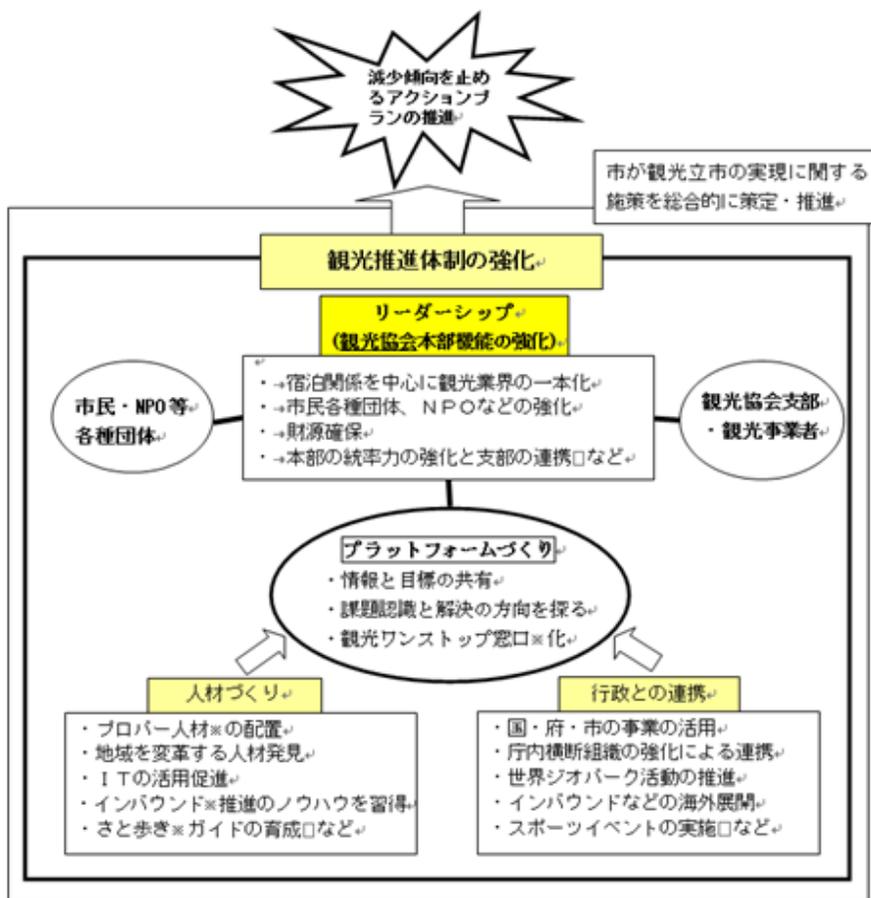
<アクションプラン(例)>

- 春、秋の旬の食材に特化した「ランチ企画」「宿泊プラン」などの一体的な実施
- 「スポーツイベント」「アクティビティ」など春・秋の実施と発地に向けた情報発信の強化
- 季節を問わない外国人観光客の誘致強化
- 夏季以外(3月、9月など)のスポーツ等合宿誘致の強化
- 春季がメインシーズンである 修学旅行の誘致強化
- 春・秋ならではの体験プログラムを取り入れたツアー・造成とPR強化
- 「京丹後ちりめん祭」(4月)など春・秋のイベントを活用したツアー・造成
- 春・秋に適した「着物着付け体験」、「着物でまち歩き」などの実施
- イベント、体験プログラム 参加者を宿泊につなげる仕組みづくり
- 春・秋の旅行ニーズが高い「シニア層」を狙った商品づくりと情報発信

重点戦略プロジェクト 3 観光推進体制の強化

全市がひとつになって、観光客・宿泊者数、消費額の減少傾向を止めるアクションプラン※を推進するには、市が観光立市の実施に関する施策を総合的に策定・実施する責務を有することを前提に、観光協会のリーダーシップのもとで、市民はもとより、民間、行政が連携して総合的に展開していくことが求められます。ひとつのプラットフォーム※で情報や問題を認識し、目標の共有化を図ることによって、企画、商品開発、誘客宣伝、ホスピタリティ※の向上などの様々な面で人材から体制に至る機能を改革、強化します。

◇図-16 観光推進体制の強化



<基本方針 3> 外国人旅行者等の誘致を強化します

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① ターゲットを明確にし、外国人旅行者のさらなる誘致に取り組みます	26 アジア圏（台湾、タイ、シンガポール等）及び欧州等を主ターゲットとした誘致活動	○	◎		○
② 海の京都DMO、豊岡DMOなど広域連携によるインバウンドの取組を強化します	27 海の京都DMOや豊岡DMOと連携した各種プロモーション、誘致活動	○	◎		○
③ 外国人旅行者を受け入れる態勢整備や観光関連事業者の機運醸成を推進します	28 宿泊施設、観光施設などでの多言語表示、Wi-Fi、免税店等の受入環境整備	◎	○		○
	29 地域全体での受入機運醸成や外国人旅行者対応等へのスキルアップ	◎	◎	○	◎
	30 “民泊”、“泊食分離”など、外国人旅行者のニーズに対応した宿泊、食事の提供 31 あらゆる旅行者を受け入れる「ユニバーサルツーリズム」の導入	◎	◎		◎
④ 教育旅行の受け入れを積極的に行います	32 “ほんまもん体験”を活かした教育旅行の誘致活動 33 「分宿」など、“民泊ニーズ”に対応する民宿での受入態勢の整備	◎	◎		○
⑤ ゆっくり滞在できる宿泊、温泉の魅力向上を図ります	34 宿泊施設、温泉施設の環境整備、魅力向上と発信強化	◎	○		○
	23 食、温泉、体験、宿泊などをセットにしたルートづくり（再掲）	○	◎		○

■=最優先
□=優先

<基本方針 4> 「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」で観光交流人口の拡大を目指します

■=最優先

□=優先

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等を通じた文化交流や地域経済の活性化に取り組めます	35 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたカヌー競技の環境整備、相手国との交流事業等「ホストタウン」の取組	○	○	○	◎
	36 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」その他スポーツイベント等の実施		○		◎
② ジオパークなど豊かな自然や地域特性を活かした、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援を行います	37 ビーチスポーツ（ビーチラン、ビーチバレーなど）、ウルトラマラソン、TANTA Nロングライドなど、“春・秋”を中心としたスポーツイベントの誘致・支援	○	◎		◎
	38 スポーツ施設等の必要な整備・管理とスポーツイベント、合宿等への活用		○		◎
③ ジオパークの魅力を活かした「ジオ・スポーツ」や「ジオ・アクティビティ」の場や機会を提供します	39 「ジオ」を活かしたカヌー、SUP、釣り、漁体験、ダイビング、トレッキング、サイクリングなど、スポーツやアクティビティ環境の提供	◎	◎		○
	40 安全・快適な海水浴の環境づくり等による誘客促進		○	◎	◎
	19 観光事業者、農漁業者等の連携による「ジオ」を活用した体験プログラムの提供（再掲）	◎	○		○
④ スポーツイベントの運営を地域で支える体制や経済波及効果による持続可能型の運営の構築に取り組めます	41 スポーツイベントの支援・運営体制の構築	○	○	○	◎

<基本方針 5> 徹底したマーケティング手法で戦略的に観光情報を発信します

※展開イメージ【◇図-27】

■=最優先

□=優先

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① マーケティング調査による現状分析や実態把握などに基づき、テーマ、ターゲットを絞った情報発信を行います	42 マーケティング調査（全宿統一アンケート実施など）によるターゲット戦略の策定	○	◎		◎
	43 国内重要ターゲットを設定し、ターゲットへの適確な手法でのアプローチ	○	◎		◎
② 海の京都DMOや豊岡DMOなど、広域連携によるメリットを活かした情報発信を行います	44 広域連携によるマスメディアの活用等、効果的な情報発信やプロモーションの実施		◎		◎
③ 効果的な情報発信ツールを選択し戦略的な情報発信を行います	45 パンフレット、紙媒体での情報発信の効果的な整備と活用	○	◎		◎
	46 ウェブサイト、SNSなどICTを活用した効果的な情報発信、PR	◎	◎	○	◎
	47 交通アクセス、情報化の進展などを踏まえた、市内での観光案内機能の整備	○	◎	○	◎
	48 観光大使の活用、SNS情報大使の創設、フィルムコミッション活動など効果的な発信の工夫	○	◎	◎	◎

◇図-27

国内のターゲット戦略

<京丹後市現状データ>

- 1 近畿圏でも以外と“認知度は低い”
 >>近畿53%、全国29%。天橋立は近畿98%、全国83%
- 2 来訪者の“出発地”のほとんどが“近畿圏”
 >>近畿90.4%、東海3.4%、首都圏2.6%
- 3 “再来訪意向”が高い
 >>81%。天橋立82%、伊根76%とともに高い
- 4 “食・料理”に対する満足度が高い
 >>73.8%。関西主要観光地で1位
- 5 “宿泊施設”の満足度が高い
 >>62%。関西主要観光地で1位
- 6 “20代・30代・40代”の満足度が高い
 >>20代:76%、30代:78%、40代:72%。
 50代:54%、60代以上:55%と比較して20%高い。
 「食」「宿」「温泉」が若い層に評価

<国内市場の観光動向>

- 有望市場は観光旅行に積極的な年齢層（20代、40代、60代）や旅行意欲の高い層（若い世代、高世帯収入層）
 ※国内旅行への意欲は、“20代女性”が最も強く、次いで“30代女性”
- 旅行の目的は、「食」「リフレッシュ」「家族や親しい人と過ごす（思い出、親睦等）」といった動機が強い
 ※「海の京都」観光地域づくり戦略（2017年3月）

視点

- 1 主マーケットの“近畿圏”でも知らない方が多く、伸び代あり
- 2 「食」と「宿」の満足度が高いことの活用、高い層への訴求
- 3 “体験・アクティビティ”で若年層、女性の旅行ニーズをつかむ

重要ターゲット

■“20代・30代の独身女性で、本物の良さがわかる知的好奇心の高い人”

※海の京都全体ターゲット（「海の京都」観光地域づくり戦略より）

+

■ 海水浴以外にも「食」「体験」で親子とも満足できる

“30～40代の子ども連れ家族旅行”

■ 「身近に行ける」「魅力的な食がある」「期待を裏切らない週末滞在地」として

“近畿圏からの夫婦、女性グループ”

<基本方針 6> 地域総ぐるみによる“観光のまちづくり”を推進します

※展開イメージ【◇図-28】

■=最優先

□=優先

基本戦略	戦略プロジェクト	取組主体			
		業者	団体	市民	行政
① 海の京都DMOや豊岡DMOなど関係府県市町等との広域的な取組と連携を強化します	49 海の京都DMOによる、京都府及び北部7市町が一体となった「海の京都観光圏」の取組推進	○	◎		◎
	50 豊岡DMOその他広域観光団体との連携	○	◎		◎
② 市観光協会を中心とした地域の観光推進体制の整備と関係団体等との連携を強化します	51 市観光協会を中心に、行政、観光事業者と連携した観光推進体制の確立と業界の一体化	◎	◎	○	○
	52 市観光協会及び支部、地域における効果的な観光まちづくり・観光イベント等の実施	○	◎	○	○
③ 観光活動の原動力となる人材の育成と確保を行います	53 観光関係者の意識向上とスキルアップ	◎	◎		○
	54 雇用環境や雇用条件整備等による人材確保の取組とAI（人工知能）活用を検討	◎	◎		◎
	55 民間企業の専門性、ノウハウの活用による人材確保と人材育成の取組			◎	◎
④ “京丹後人気質”による「おもてなし」の向上を図ります	56 環境美化、丹後ちりめんの活用、「花いっぱい作戦」など、観光業をはじめ市全体における「おもてなし」の向上	◎	◎	◎	◎
⑤ 公的観光施設の適切な管理・運営により、良好な利用環境を提供します	57 公的観光施設（道の駅、温泉、公園施設など）の適切かつ効率的な維持管理及び運営	○	○		◎
	58 環境変化等に伴う市有観光施設のあり方（新規、見直しなど）の検討				◎
⑥ 快適・安全・便利に移動できる交通環境やサイン整	59 海岸沿いの高速道路をはじめとした交通アクセス、サイン（多言語化含む）、駅周	○	◎		◎

2 アクションプランメニュー

アクションプランメニューは、前章で述べた基本方針ごとに、市、観光関係団体、観光事業者、市民などが取り組むべき具体的な事業の提案で、5年以内に実施に向けた検討を行い、一つでも多くの事業を実施または着手することを目標とします。

「重点メニュー」(太字)は、その中でも特に重要と位置づけるものです。また、桃色枠は「さらに戦略的に取り組むメニュー」、緑色の枠は「重点的に取り組む新規メニュー」を表示しています。

基本方針 1 かけがえのない日本のふるさとでもある私たちのふるさと丹後を守り育てる観光を目指します

テーマ	個別プラン		主体別の取り組み			
			観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
テーマ① 丹後王国などの歴史遺産、地域の「宝」を活かします	歴史の宝庫、京丹後の発信					
	1	社寺との連携協力を含めて歴史関係者の組織化による発信 ・全国に発信できる歴史的な魅力、資源をさらに関係者で研究・協議する ・社寺関係者との協力連携の推進	○	◎	△	◎
	2	代表的な古墳、史跡を絞り、見学できるための環境整備を行う		○		◎
	3	丹後建国1300年を記念したイベントの実施	○	◎	○	◎
	4	歴史、文化、伝説などを紹介するシリーズ的なガイドブックの作成		○		◎
	地域の「宝」の活用		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
	5	「地域遺産」、「京丹後百景」などの市民参加による収集と発信	○	◎	△	◎
	6	地域の祭を利用した観光客の誘致	◎	◎		○
テーマ② ふるさと	伝説・伝承の活用		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政

<削除>

アクションプランを戦略プロジェクトに改正

個別プランは削除

現 行 (第2次計画)						改正案 (第3次計画)						変更理由等	
の物語を伝え感動につなげます	7	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後七姫、月の輪田などの各種PRへの活用、ゆかりの地理環境整備を行う ・各地に伝わる貴重な伝説・伝承を観光に活用する ・丹後七姫を市のマスコットキャラクターとして位置づけ、発信、PRを行う 	○	◎	◎	<削除>							
テーマ③ ジオパーク活動を推進し、豊かな自然を守り活かします	「山陰海岸ジオパーク※」の推進		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体								行政
	8	ジオパーク活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な地質遺産を世界に発信する「世界ジオパーク」再審査に向けた取り組み及びジオサイト※を活用した特徴的なジオツーリズム※の推進 ・「山陰海岸ジオパーク」による世界的発信力を活かし、外国からの旅行者増加を図る 	◎	◎	◎								◎
	豊かな自然活用		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体								行政
9	貴重な植物のある風景（トウテイラン、ユウスゲ、フクジュソウなど）の積極的な活用と、フクジュソウなどを地域で育て販売する仕組みづくりを行う	◎	○	△	○								
基本方針 2 地域資源を活かして未来を拓くほんまもん観光・体験を提供します													
テーマ	個別プラン		主体の取り組み										
テーマ① 海の観光	漁業者と連携した海の体験の実施		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政							

現 行 (第2次計画)

10	海業振興協議会による観光と漁業の連携推進と漁業体験、漁船遊覧船、漁港見学等の実施 ・漁船などを活用した遊覧船やシータクシー※の実施 ・各種漁業体験、漁港、セリ見学の実施と漁家民泊の取り組み推進 ・海業振興協議会による観光と漁業を結びつける検討、連携の推進	○	◎		○
11	年中にぎわう砂浜海岸づくりに向けた日本一の砂浜海岸づくりの取り組み推進 ・砂浜海岸の環境保全及び施設整備とサービスの提供 ・砂浜海岸を活用した交流の促進	○	○	○	◎

テーマ② 農の観光	農業者と連携した農業体験の実施	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
	12 農業体験、農家民泊※、海と連携した体験の実施、グリーンツーリズム※への対応 ・農業体験、自然ふれあい体験の実施と古民家等を利用した宿泊、農家民泊の実施 ・山間部で農業体験と海の体験などを組み合わせた1泊2日体験メニューの提供	◎	○		○

テーマ③ ものづくり観光	機械金属工場の見学	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
	13 「丹後ものづくりパーク」を拠点とした機械金属工場の見学実施 ・機械金属関係の土産物の改良・開発 ・関係者による協議会の設置とサポート体制の確立	○	○		◎
	丹後ちりめん観光	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政

改正案 (第3次計画)

<削除>

変更理由等

現 行 (第2次計画)

14	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後ちりめんを活用した工場見学、小物づくりや和装体験の実施、土産物開発 ・地場産業を活かしたちりめん製品、特に女性をひきつける製品の改良・開発 ・成人式用の着物が購入できる女性親子向けのツアーの実施 	○	◎		○
----	--	---	---	--	---

テーマ④ さと歩き ※観光	市内を周遊する観光ルートの設定	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
	15 各町の代表的なスポットを入れた定番観光ルートと、エリア別、所要時間別、テーマ別など、多種多様な観光ルートの設定	○	◎		○
	地域文化にふれられるまち歩きコースの作成	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
	16 各町の代表的な地域を絞ったまち歩きコースの設定と、コース内の順路標識、看板整備、無電柱化による景観美化		○		◎
	17 ちりめんをテーマにしたまち歩き・自転車、ちりめん製傘の貸し出し、観光客と地元の人とのふれあい機会の設定など、地域の特徴、丹後の特色を活かした演出 ・着物が見える街並みの演出などとまち歩きとの連携	○	◎		○
	18 ・空き家、空き店舗の有効活用の検討 ・まちの商店、宿、民家などを活用したお茶のみ処、トイレ処などの整備	○	◎		○
観光ルート、さと歩きコースの発信	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政	

改正案 (第3次計画)

<削除>					
------	--	--	--	--	--

変更理由等

現 行 (第2次計画)

19	観光ルート、さと歩きコースをまとめたマップ集、ガイドを作成し、宿、観光施設などへ配置するとともに、インターネット上での配信を行う		◎		○
20	丹後大宮駅、峰山駅、網野駅、久美浜駅などにおいてさと歩き※と地域の観光案内を行う拠点を既存施設を利用して整備 ・ 駅構内・駅前施設、観光施設などでの観光の玄関としての観光案内センター機能整備 ・ 1年を通じた観光ガイドなどによるサービスの確保		○		◎

土産物の改良・開発		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
テーマ⑤ 京丹後ブランドとなる土産物づくり	21 市の代名詞、顔となる代表的な土産物や特産品の改良・開発と行政支援の確立	◎	○		◎
	22 サワラなどの水産加工品、くずナシなど果実の有効活用による特産品の改良・開発	◎	○		○
	23 マスコミ、著名人を利用した商品PR	○	○		◎

基本方針 3 京丹後人気質をもったもてなし観光と国際観光に取り組みます

テーマ	個別プラン	主体の取り組み			
テーマ① 味の極上	カニを中心とした食の魅力	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政

改正案 (第3次計画)

<削除>

変更理由等

現 行 (第2次計画)						改正案 (第3次計画)						変更理由等	
地づくり	24	ニーズ・季節に応じてカニメニューに多様性を持たせる、五感であじわってもらう工夫 ・冬でも他の食が選択できるコース、質重視コース、季節を限定しないカニ料理の創作など、カニメニューに多様性を持たせる ・なぜ丹後で食べるカニがおいしいか、ストーリー性や五感で味わってもらう工夫など	◎	○		○	<削除>						
	季節感ある食と地産地消の推進		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政							
	25	・農業者、漁業者と観光業者とをつなぐ関係者による協議の推進	○	○		◎							
	26	地産地消の名物づくり ・有害鳥獣を活用したシカ、イノシシ肉の活用 ・特産品化に取り組んでいるサワラを提供する食事処、土産物店、宿の増加を図る ・山菜採りなど自然の恵みを活かした体験メニューの開発と食への活用 ・ばら寿司などの郷土料理、海、山、里の地元食材を活かした食づくり体験の実施 ・飲食店などにおける地産地消、丹後ブランド使用のPR（共通のれんの設置など） ・久美浜湾の丹後とり貝の活用 ・その日に収穫、出荷される商品がインターネット発信される仕組みづくりの検討 ・ジオパークを活かした食の提供	◎	◎		◎							
	27	丹後あじわいの郷に、丹後一円の食と土産物を集めて発信、販売する	○	◎		○							
テーマ② ゆっくり	京都府丹後観光圏※で連携した宿泊・滞在の魅力づくり	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政								

滞在できる宿泊魅力の向上	28	宿泊者数及び稼働率のアップに向けて、宿泊そのものの魅力を向上させる総合的な対応を図る。 ・宿泊施設の業態の改善、経営改革に対するコンサルタント派遣など支援 ・京阪神などからの定額安価なバス路線の確保による誘客支援 ・宿泊業界の全市的な情報交流、統一事業などができるプラットフォーム※づくり ・地産地消による名物グルメフェア	◎	◎		◎	
	29	京都府丹後観光圏での取り組みと連携し、丹後でのゆったりした過ごし方の提案、特色ある体験など、滞在、連泊（泊食分離を含めた）の仕組みづくりと一体的な発信	◎	◎		○	
	30	宿が営業マンになって、地域の観光の魅力を的確にPRする	◎	○			
	数、種類が豊富な温泉のさらなる活用		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政	
	31	数・種類が豊富な温泉のまちを一体的にPRする取り組み（「京丹後七湯」など）	○	◎		○	
	32	長寿の里であることと温泉、薬草、運動、食などを組み合わせた健康、美容をテーマにした旅行商品開発 ・「エコ」、「ヘルス※」、「グリーン※」など新たなツーリズムへの対応 ・京丹後式健康生活プラン、京丹後健康長寿食の開発 ・医療観光推進への取り組みの検討	○	◎		○	
テーマ③ ホスピタリティ※の向上	観光業におけるもてなしの向上		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政	
	33	・観光関係者全体でもてなしの資質向上に取り組む ・宿、観光施設で統一のご意見箱を設置し、施設毎に分析と対応を実施	◎	◎		○	

<削除>

現行（第2次計画）

改正案（第3次計画）

変更理由等

市全体でのもてなし		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
34	市民が地域に誇りと愛着を持ち、地域観光資源に関する知識の向上など、観光に対する理解をもってもらう「もてなし大賞」の実施、学校、地域、企業などへの協力要請など、市全体でのもてなしの意識の向上を図る ・市民が地域に誇りと愛着を持ち、地域観光資源に関する知識の向上を図る	○	◎	○	◎
35	・観光ガイドの有効活用、周知徹底を図る ・さと歩きガイドの制度化と有効活用 ・丹後ふるさと検定合格者、ネイチャーガイド養成講座修了者等の観光ボランティアの充実、派遣体制の整備		◎		◎
36	丹後ちりめん資料館、野村克也記念館など新たな観光施設整備の検討		○		◎

<削除>

インバウンドの推進と受入体制整備		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
テーマ④ インバウンド※の 推進	37 外国人から見た丹後の良い点を調査し、商品戦略をたてながら、アジア地域を中心とした販売促進活動、誘致活動の実施及びパワープロガー※招致による誘客 ・山陰海岸ジオパーク※を活用した国際交流と誘客の推進 ・スポーツ交流の実施推進 ・台湾、中国、アセアン諸国などとの国際交流の推進 ・舞鶴港の海外航路との連携		◎		◎
	38 外国語講座、接客のあり方など、研修機会を増やす		◎		◎

現行（第2次計画）

39	外国語パンフレット、ホームページ、サイン※の整備		◎		◎
40	人材バンクを設置して、通訳などを派遣できる仕組みをつくる		○		◎

教育旅行の誘致		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
41	環境の取り組み、ジオパーク認定地域の特色を活かしたほんまもん体験などを中心にPRし、積極的に修学旅行誘致を図る		◎		◎
42	外国からの教育旅行誘致を推進する		◎		◎
43	民宿等での分宿※形態を地域で取り組み、地元の人とのふれあいをアピールする	◎	○		△

アクセス、丹後周遊の交通網整備		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
44	京都縦貫自動車道、鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備促進				◎
45	コウノトリ但馬空港～羽田空港直行便の実現に向けた取り組み推進				◎
46	市内幹線道路の雪による交通障害の解消、丹後半島一周道路（R178）の道路改良、城崎久美浜間の三原峠トンネルの早期着手促進				◎
47	「日本風景街道」※登録（R178 丹後町～久美浜町）を活かした道路環境整備		○		◎
48	大宮森本 IC 完成を見越し、弥栄、丹後方面へのアクセスルート改善				◎
市内周遊手段		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政

改正案（第3次計画）

＜削除＞

変更理由等

現 行 (第2次計画)

49	観光施設間の連携を推進し、各施設を周遊する手段を検討	○	◎		◎	
50	上限200円バス※の路線拡大、バス停増設に伴う、観光ルート、マップ作成	○	◎		◎	
51	丹後地域広域での1日乗り放題バスの運行	◎			○	
駅周辺整備及び北近畿タンゴ鉄道の活用		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政	
52	北近畿タンゴ鉄道の総合的な活性化支援策の展開	○	○	○	◎	
53	駅施設、機能の総点検と必要な整備、適切な管理運営	◎			◎	
54	北近畿タンゴ鉄道の着物着用者割引、バス周遊とセットにしたチケット発行など	◎	○		○	
55	主要駅を拠点としたレンタサイクルの実施と、サイクルトレイン※の観光への活用	○	◎		○	
観光サイン整備		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政	
56	誘導看板、説明看板などの計画的整備、老朽化看板の早期撤去				◎	
環境整備		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政	
テーマ⑦ きれいな観光地づくり活動の促進	57	花いっぱい運動を市内全域へ広げるため、推進検討会を設置し、助成制度など行政が情報提供、支援を行い、河川沿いへの植樹、市民花壇、企業花壇などによる自主的な環境運動を推進	○	○	○	◎
	58	年中にぎわう日本一の砂浜海岸づくりを目指した海岸清掃の取り組み推進 ・砂浜清掃の機械化導入の検討	○	○	○	◎

改正案 (第3次計画)

<削除>					
------	--	--	--	--	--

変更理由等

基本方針 4 徹底したマーケティング※手法で戦略的に情報を発信します

テーマ	個別プラン		主体の取り組み			
テーマ① 観光マー ケットの 感度向上	観光マーケティング		観光業 者・生産 者など	観光協 会・関係 団体	市民・ 市民団 体	行政
	59	市場ニーズや変化を把握できる定期的な調査や外部専門機関等とのネットワークづくり		◎		◎
	60	専門家などによる相談、アドバイス体制の確立		◎		◎

テーマ② ターゲッ ト戦略	ターゲットの設定		観光業 者・生産 者など	観光協 会・関係 団体	市民・ 市民団 体	行政
	61	国内ターゲットを関西圏から中京圏、関東圏へ広げる	◎	◎		◎
	62	アクティブシニアと女性を意識した商品開発	◎	◎		○
	63	スポーツ施設の情報発信による大会・合宿の誘致	◎	◎		◎

テーマ③ 効果的な 情報発信	効果的な発信、PR		観光業 者・生産 者など	観光協 会・関係 団体	市民・ 市民団 体	行政
	64	・市職員はもとより、全市民が営業マンとして市をPRする取り組みの推進 ・パンフレットを学校、家庭などにも配布し、市民の意識、知識向上を図る	○	○	○	◎
	65	宿、観光施設などでのあらゆる観光情報の収集と提供を行うとともに、「まちの駅※」制度による商店などからの情報発信とてなしの取り組みを推進	○	◎		○
	66	フィルムコミッション※設置など、映画、TVなどのマスメディアを活用した発信力強化		○		◎

<削除>

現 行 (第2次計画)						改正案 (第3次計画)						変更理由等	
	67	ケーブルテレビ※、コミュニティFM※を活用した観光情報の発信と共有化		◎		○	<削除>						
	68	本市のイメージを戦略的にアピールする「ゆるキャラ※」・キャッチコピー※などの活用		◎		○							
	69	京丹後ふるさと応援団※、京丹後市博士※、丹後観光口コミ大使※の積極活用		○		◎							
テーマ④ 情報発信 ツール※ の選択と 集中	パンフレットの整備・有効な配布・活用方法		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政							
	70	マップ等のパンフレットの整備 ・テーマ別の周遊コース、さと歩き※コースなどのマップ整備 ・市外（誘客促進）、市内（周遊促進）に分け、有効な配布・活用方法を検討する		◎		○							
	ITを活用した情報発信		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政							
	71	観光情報サイトを一本化し、すべての宿、観光施設などのページにリンクする。また、すべての観光パンフをデジタル化し活用する ・観光情報サイトを観光協会ホームページに一本化し、シンプルでわかりやすいものに整理 ・すべての観光パンフレットをデジタルブック※化し、インターネット上で広く発信する ・観光情報サイトをすべての宿、観光施設などへ広くリンクされるよう働きかける ・イベント情報の収集、発信を的確に幅広く行う（各種ホームページでの発信、マスコミ活用）	○	◎		○							

現行（第2次計画）

72	観光客・市民への直接的な情報交流 ・携帯端末などを通して、宿・観光業者と観光客が双方向の情報受信を行う。 ・PR、検索・ナビなどの機能をもったIT対応の環境整備を図る。（ツイッター、フェイスブックなどを含む）	◎	◎	△	◎
イベントの改善と発信強化		観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
73	既存イベントについて、観光振興の観点での工夫、見直しを検討する		◎		◎

基本方針 5 地域が総ぐるみで観光のまちづくりを推進します

テーマ	個別プラン	主体の取り組み			
テーマ① 総合的な観光推進組織づくり	観光協会を中心とした推進体制づくり	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政
	74 観光協会内にテーマ別、課題解決型の推進体制を確立するなど、事業推進体制を強化する ・観光協会の体制強化と業務の整理・拡充 ・宿泊、飲食、土産物、地産地消などテーマごとの課題解決型の業界組織の形成 ・実務面のプロパー人材※の確保 ・地域やNPOなどによる観光をテーマとしたコミュニティビジネス※の振興	○	◎		○
	75 ・観光協会、商工会を中心とした推進体制の形成		◎		○
	京都府丹後観光圏※など広域連携による観光施策の推進	観光業者・生産者など	観光協会・関係団体	市民・市民団体	行政

改正案（第3次計画）

変更理由等

<削除>

現 行 (第2次計画)						改正案 (第3次計画)						変更理由等	
	76	海の京都観光推進協議会(仮称)※、豊岡市など、利害と展望を共有する地域及び団体等との連携による誘客の推進 ・京都府丹後観光圏整備事業、海の京都観光推進協議会(仮称)、海の京都構想※との連携 ・山陰海岸ジオパーク※構成自治体等との連携	○	◎		◎	<削除>						
	77	国、京都府、関西広域機構、北近畿広域観光連盟、NHK 大河ドラマ誘致促進協議会など広域組織との連携	○	◎		◎							
	78	JR、北近畿タンゴ鉄道、丹後海陸交通などの運輸機関との連携	○	◎		◎							
テーマ② 観光活動の原動力となる人材の育成	79	人材の育成 ・ホスピタリティ※研修会、ガイド養成講座等の実施(生涯現役の発想で高齢者の知恵と技を観光に活かす) ・後継者の育成 ・関係者の研究会、勉強会による現状に対する改善意識の醸成	◎	◎	○	◎							

第4章 地域別計画

地域別計画は、全市を対象とした将来ビジョン、アクションプラン※とともに、地域の現状や課題、特徴を踏まえて、地域別に関係者が一体となって、取り組む内容を整理するものです。

1 地域別計画の目標とテーマ

地域	目標	テーマ
峰山	京丹後市の都市機能が集積した中枢拠点として、産業観光への取り組み、スポーツ施設の活用や丹後ちりめんや歴史をテーマとしたまち歩きの整備などを進めます	1 産業観光とスポーツ観光の推進 2 丹後ちりめんと歴史を活かしたまち歩き観光の推進 3 玄関口峰山駅の改善
大宮	京丹後市の玄関口としての機能を充実するとともに、地産地消などによる農業や自然環境を活かしたほんまもの観光に取り組みます	1 アグリツーリズム※の推進 2 「京丹後の玄関口」としての機能整備 3 各種資源などの有効活用
網野	京丹後市の宿泊温泉拠点としてホスピタリティ※を向上させ、海や漁業、歴史資源、丹後ちりめん機屋の街並みなどと一体となった滞在型の地域づくりを進めます	1 豊富な資源、施設の有効活用 2 公共交通と観光・散策ルート、街並み整備
丹後	海や漁港の景観、グルメなどの魅力を活かしつつ、まち歩き、海岸を周遊できる環境などの整備を行います	1 まち歩きによる魅力発信 2 観光資源の有効活用 3 交通便利性の向上と周遊魅力の向上
弥栄	高原の自然、歴史、史跡、温泉や農業を活かし、施設などの有効な連携により、内陸の魅力ある観光活動を促進します	1 花、山野草を中心とした自然の魅力発信 2 歴史・史跡の活用 3 観光施設を中心とした施設・地域間の連携
久美浜	海岸や久美浜湾の自然景観を活かし、街並みの整備や地元食材による食の魅力に取り組みます	1 久美浜湾と日本海を中心とした資源活用 2 まちの活性化とまち歩き、歴史による魅力発信 3 地元食材の活用

2 エリア別目標・地域別プロジェクト

エリアの現状や課題、特徴を踏まえて、関係者が一体となって取り組む目標と地域別プロジェクトを整理します。

(1) エリア別の目標・地域別プロジェクト

■=最優先
□=優先

エリア	目標	地域別プロジェクト
海岸 エリア	○ 海の京都の 「主たる滞在促進地区」、「交流地区」として、 宿泊、温泉等の 魅力に磨きをかけます。	網野地域 1 「海の京都」の主たる滞在促進地区「夕日ヶ浦」における夕日の広場（仮称）など夕日、海、温泉、花の魅力開発・活用と無電柱化など街並み整備 2 野村克也ベースボールキャラリーの活用 3 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」を活かした機屋（網野、浅茂川）のまち歩きと八丁浜海岸散策の促進 4 網野桃子山古墳の整備と歴史・史跡の活用 5 漁港（浜詰、浅茂川、三津）を活用した見学、朝市等の実施 6 掛津の民宿を中心とした教育旅行の受入促進 7 日本一の鳴砂の浜「琴引浜」のさらなる活用、PR（動画制作など） 8 浦島太郎、静御前等伝説・伝承の活用
	○ ジオパークに 代表される海岸 景観や漁港、漁 業、豊富な食な どの魅力を活用 し、ほんまもん 体験、まち歩き 観光などに展開 します。	丹後地域 9 「青の洞窟」「愛の洞窟」の活用、シーカヤックなど「ジオパーク体験」のさらなる促進 10 間人漁港の競り見学などの観光活用 11 港町、ジオサイトを巡るまち歩き、さと歩き、温泉巡りなどの実施 12 滞在・周遊促進のための交通、道路整備と公共交通空白地有償運送（支え合い交通）の活用促進 13 地域の観光スポットを紹介する電子ガイドブック、外国人旅行者向けの観光マップの作成、活用

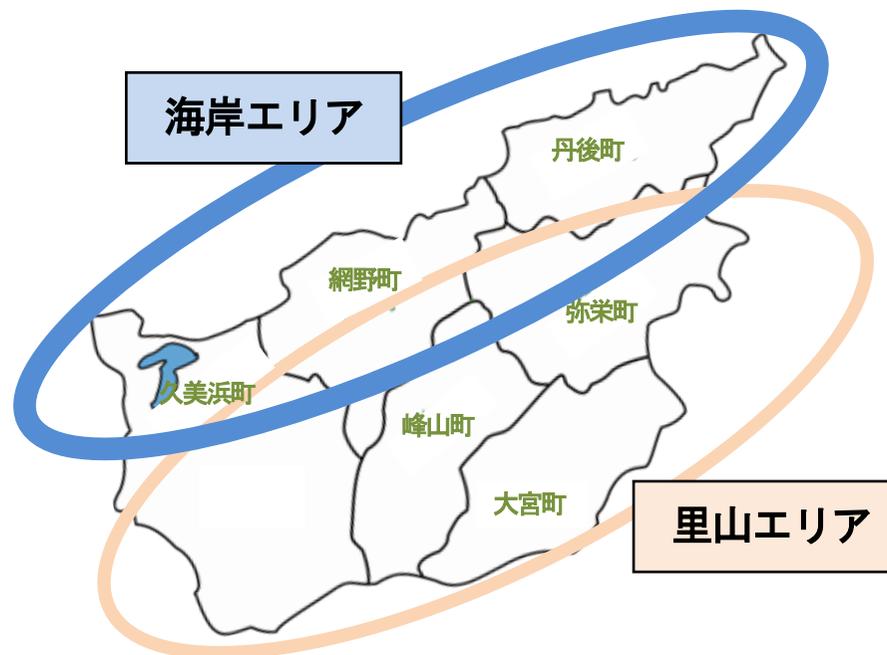
「地域別計画」を「エリア（里山と海岸）別の目標と地域別プロジェクト」にまとめる

地域別プロジェクトに最優先、優先を追加

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)		変更理由等
		<p>14 「間人ガニ」の産地として「カニのまち」のさらなる発信</p> <p>15 大成古墳群周辺の整備及び古代の里資料館、神明山古墳を含む史跡、歴史の活用</p> <p>16 経ヶ岬（灯台）、犬ヶ岬散策道の適切な管理及び活用</p> <p>久美浜地域</p> <p>17 かぶと山園地整備と山頂展望台からの絶景の活用及びアクセス道の改良</p> <p>18 久美浜かきのさらなる活用と旬の食材を活かしたランチの促進</p> <p>19 「フルーツ街道（フードトレイル）」としての発信など、フルーツのさらなる活用と発信</p> <p>20 稲葉本家を中心とした久美浜一区の歴史的街並みの保全と活用、久美浜駅再生とまち歩き観光の促進</p> <p>21 久美浜湾岸沿い、かぶと山等への桜や花の魅力づくり</p> <p>22 トウテイラン、ユウスゲなど丹後砂丘の貴重な海浜植物の保全・保護</p> <p>23 久美浜湾、ロングビーチ（小天橋～箱石、函石浜遺跡）、蒲井・旭海岸等を活用した体験、ジオ・アクティビティ（ジオカヌーなど）、遊覧船等の促進</p> <p>24 湊宮での漁港活用とまち歩き観光の推進及び教育旅行の受入促進</p> <p>25 民間施設（美術館、観光農園、温泉等）の活用と連携促進</p>	
	<p>里山 エリア</p>	<p>○ 日本遺産認定 「丹後ちりめん回廊」の織物業、 「ハイテクランド」を構成する 機械金属業を活かした産業観光、まち歩きの 整備などを進め</p> <p>峰山地域</p> <p>26 日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」（織物業）を活かしたまち歩き観光、産業観光の推進</p> <p>27 金刀比羅神社「狛猫」を核とした猫プロジェクトの推進</p> <p>28 羽衣天女伝説、月の輪田（稲作発祥伝説）、赤坂今井墳墓の活用</p> <p>29 機械金属業に関連した産業観光の促進</p> <p>大宮地域</p>	

ます。
 ○ 京丹後市の南
 玄関口としての
 おもてなし機能
 を充実させ、観
 光客をあたたか
 く迎えます。
 ○ 農業を活用し
 た体験、山林で
 の自然体験、花、
 山野草の魅力を
 活かした観光に
 取り組みます

- 30** 京丹後の南玄関口での花、ライトアップ等の環境整備
- 31** 温泉、自然とのふれあい、農業を活用した体験、農家民泊等の提供
- 32** 内山ブナ林などを活用したノルディックウォークの推進
- 33** 小野小町ゆかりの地の活用
- 弥栄地域**
- 34** 丹後王国「食のみやこ」での食、花、山野草の魅力発信及び市内の観光施設間の連携促進
- 35** 野間地域（野間川溪谷）の自然を活用した体験、農家民泊や食の提供
- 36** 森林公園スイス村の芝桜、水辺公園の環境整備、丹後弥栄道路の桜並木など、花のおもてなし
- 37** 細川ガラシャゆかりの地の活用
- 38** 遠所遺跡、奈具岡遺跡、黒部銚子山古墳等の活用



2 地域別計画

(1) 峰山地域 目標：産業観光、まち歩き観光に取り組みます

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・官公署、事業所、工場等の集積地であり、観光要素は少なくビジネスでの宿泊者が多い ・国内最大規模の古墳をはじめ、神社、寺院などの見どころが多い ・スポーツ施設、文化施設が整備されており、観光への活用も考えられる ・住民の観光に対する意識がやや低い

主な観光エリア	特 徴	主な観光要素
市役所周辺	神社、丹後ちりめん工場、商店などまち歩きの魅力	金刀比羅神社、狛猫、御旅市場（日本一短いアーケード）、ちりめん工場、機械金属工場、ものづくりパーク、薬師ヶ丘さくらの森公園（震災記念館）、峰山総合公園
天女の里周辺	羽衣伝説、稲作発祥伝説の地	天女の里、乙女神社、磯砂山、慶徳院（襖絵）、ウッディいさなご（体験）、月の輪田（稲作発祥伝説）
その他	峰山途中ヶ丘公園、赤坂今井墳墓（国指定史跡）、禪定寺（丹後ちりめんゆかりの寺）	

②地域計画

1. 産業観光とスポーツ観光の推進
<p>①規模、質とも向上している機械金属工場の見学を観光と結びつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりパークから複数の工場見学のルートを設定し発信する ・機械金属工場等への協力要請を行い、土産物の開発、効果的な仕組みづくりなどを検討する ・まずは子どもをターゲットに考える <p>②途中ヶ丘運動公園、峰山総合公園など充実したスポーツ施設を活用した誘客の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の情報をひとまとめにし、関係者へのPRや宿泊施設などから発信を行う <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模なスポーツ大会、合宿の誘致を推進する
2. 丹後ちりめんの歴史を活かしたまち歩き観光の推進

<削除>

- ①峰山駅と金刀比羅神社、御旅市場、丹後ちりめん工場などをつなぐまち歩きの推進
 - ・コース内への食べ物スポット、トイレ、休憩処などの整備
 - ・御旅市場に丹後の食を集め、食の魅力をPRする
 - ・レンタサイクルの実施
 - ・猫プロジェクトの推進
 - ②史跡・街並みなどの整備
 - ・赤坂今井墳墓、湧田山古墳、月の輪田など、代表的な史跡を絞って看板、駐車場などの整備を行う
 - ・歴史ある街並み景観保全のための取り組みを検討する
- 3. 玄関口峰山駅の改善**
- ①観光玄関口として駅の機能向上、イメージアップに取り組む
 - ・券売所を1階に移転させるなど、利用しやすい施設となるようハード面での改善の工夫
 - ・売店運営や窓口業務の改善など、観光客の視点に立った適切な管理運営
 - ・案内看板、観光情報の充実を図る

<削除>

(2) 大宮地域 目標：アグリツーリズム※と情報提供機能の充実を推進します

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・国道312号周辺の商店、農業などの産業の集積地で、観光の要素は少ない ・与謝天橋立ICから京丹後市への玄関口にあたり、観光客の通過が多い ・ブナ林などの豊かな自然が広がり、観光での有効活用が可能 ・丹後周辺を観光する上での中心的位置にあたり、観光の拠点となりうる ・住民の観光に対する意識がやや低い

主な観光エリア	特 徴	主な観光要素
丹後マスターズビレッジ周辺	市入口にあたり交通の利便性が良い	おおみや小町温泉、大宮ふれあい工房（体験）、大宮売神社、峯空園（桜スポット）、丹後ちりめん
明田、五十河周辺	ブナ林を代表とする豊かな自然とこだわり農業	内山ブナ林（近畿最大規模、福寿草、あじさい）、小町公園（小野小町ゆかりの地）、季楽里（体験工房）、名水、大宮森本IC設置予定地
その他	平地地蔵、国道312号周辺の飲食店、イチゴ狩り	

②地域計画

1. 「アグリツーリズム※」の推進

①地元の農作物提供の推進

- ・関係組織で「地産地消協議会」を設置し、システムの構築や販売ルートを確認させ、地元農作物の流通を図る
- ・竹炭米の例など、ストーリーやこだわりをもったブランド化の取り組みを推進する

②ともに汗をかき、地元の人とふれあう、ストーリーのある体験の推進

- ・古民家などを利用した宿泊や農家民泊※と自然ふれあい体験・農業体験の実施
- ・NPO法人を核とした体験活動の推進
- ・農業の体験、海の体験などを組み合わせたメニューの提供など、山・農と海との連携を推進する

2. 「京丹後の玄関口」としての機能整備

①案内・情報提供機能の強化

- ・既存施設を活用した情報、トイレ、バス駐車場、土産物がそろった複合的なインフォメーションセンター※整備を検討する
- ・「観光案内交番」など、飲食店などにおける観光情報発信の充実、協力施設の拡大を図る

②道路環境の整備

- ・大宮森本IC設置に伴う延利、森本周辺の施設、環境整備と丹後町方面へのアクセスルートの検討
- ・大宮森本ICに関連した新たな施設などが整備される際、地元のコンセンサスと景観面での規制・配慮を考える
- ・国道312号沿いの清掃、花運動、景観保全、街路灯整備など、地域による取り組みを推進する

3. 各種資源などの有効活用

①自然、出身著名人、施設、地理的条件の積極的な活用

- ・内山ブナ林散策コースの設定とガイド案内を実施
- ・川遊び体験ができる環境整備（明田、延利、五十河周辺）
- ・京丹後市出身の著名人を活用したイベント、商品開発の実施
- ・大宮、峰山のスポーツ施設を活用した誘客と滞在の促進
- ・丹後地域の中心地で周遊の拠点となりうる立地的条件を活かした取り組みの推進

<削除>

(3) 網野地域 目標：宿泊を中心とした滞在型観光地を目指します

①現状・課題、特徴など

現状と課題

- ・市内でも観光客が多い地域である
- ・海側に多くの温泉地、海水浴場が並び、観光の中核を担っている
- ・海、温泉、歴史、丹後ちりめんなど、あらゆる観光資源に恵まれている
- ・カニと温泉で宿泊・昼食客は多いが、地域での滞在時間は短い

- ・宿周辺などでまち歩きができる環境整備が不十分
- ・魅力的な景観、観光資源を有する浜詰・浅茂川を結ぶ府道の活用が不十分
- ・網野駅周辺の賑わいがなく、玄関口としての印象が悪い

主な観光エリア	特徴	主な観光要素
木津温泉周辺	京都府最古の木津温泉を有する、歴史ある温泉地	温泉（京都府最古、足湯あり）、カニ、松本清張小説「Dの複合」舞台、果樹、ホテル
浜詰・夕日ヶ浦周辺	カニと温泉で市内一の観光地に成長	温泉（外湯あり）、カニ、夕日ヶ浦（日本の夕陽百選）、海水浴
浅茂川・小浜地区	八丁浜を中心に、多彩な観光要素が存在	海水浴、カニ、温泉（外湯あり）、浦島伝説（浦島太郎、乙姫）、丹後ちりめん（工場、織り元多数）、離湖、浅茂川漁港、八丁浜シーサイドパーク、サーフィン、牧場
掛津・琴引浜周辺	日本一の鳴砂の浜、琴引浜を有する	琴引浜（国天然記念物・名勝）、琴引浜鳴き砂文化館、海水浴、カニ、温泉（砂浜に湧き出る）
その他	網野銚子山古墳（国指定史跡）、静の杜・静神社（静御前ゆかりの地）、郷村断層（国天然記念物）、切畑地区（自然豊かな山里と名水、ホテル）、霧降りの滝、丹後ばら寿司、子午線	

<削除>

②地域計画

<p>1. 豊富な資源、施設の有効活用</p> <p>①海、漁港、さかな屋と観光を結びつける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セリ見学にあわせた朝市の実施とさかな屋（浅茂川地内）を観光客向けに変える ・浅茂川地区などでのまち歩きの推進と、「魚」をキーワードにした観光ルート開発 <p>②静神社、嶋児神社、銚子山古墳など歴史スポット、史跡の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各史跡における道路、案内板、駐車場の必要な整備 ・静神社を夕日のスポットとしてPRする <p>③八丁浜シーサイドパークの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルのグラウンドゴルフ大会など、観光振興につながるスポーツ大会の実施
<p>2. 公共交通と観光・散策ルート、街並み整備</p> <p>①海岸線を中心としたルート整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後町から続く三津～浜詰までの海岸線を「夕日の道」として整備、PRする ・浜詰海岸から小天橋こわたる約8kmの砂浜海岸への遊歩道、自転車道などの整備促進 ・浅茂川～浜詰間の府道を観光ルートとしてPRする ・網野～浜詰間の国道の積雪による交通障害への対策の検討

- ②浜詰地域の観光まちづくりを推進する
 - ・無電線化の推進など街並み整備の取り組みと、まち歩きを推進する
- ③まちの駅※、立ち寄りスポットなどの整備
 - ・「まちの駅」など、店の軒先を利用した休憩所、お茶飲み処、散策ルート上のトイレ整備
 - ・ちりめん製傘の貸し出しなど特色ある取り組み

(4) 丹後地域 目標：海、漁港、景観を活かした魅力に磨きをかけます

①現状・課題、特徴など

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> ・立岩、屏風岩、丹後松島などの奇岩とリアス式海岸が織りなす市内随一の海岸景観 ・ブランドガニ「間人ガニ」の産地として、全国的に知名度が高い ・天橋立・伊根を結ぶ「丹後半島一周」のルート上にあり多くの周遊客が通過する ・多くの観光客が通過するが、滞在につながらない ・間人の街並み、漁港など、雰囲気ある風景が十分に活かされていない ・駅から遠い上、公共交通による周遊の利便性が悪い ・美しい海岸景観は眺めるだけで、十分な活用がされていない

主な観光エリア	特 徴	主な観光要素
間人・竹野周辺	間人ガニの産地、丹後の象徴・立岩のある海岸	カニ(ブランド間人ガニ)、温泉、道の駅、立岩、大成古墳、屏風岩、間人漁港、まち歩き、海水浴、キャンプ、古代の里資料館、神明山古墳(国指定)、間人皇后・聖徳太子母子像、漁家民宿
宇川・袖志周辺	抜群の海岸景観、灯台がある市内随一の景勝地が続く	経ヶ岬灯台(日本の灯台50選、近畿最北)、丹後松島、袖志の棚田(日本の棚田百選)、碓高原(ステーキハウス)、温泉、海水浴、魚釣り、アユ、農家民宿
その他	丹後半島一周、依遅ヶ尾山、山野草	

②地域計画

1. まち歩きによる魅力発信
<p>①間人、中浜などの港町のまち歩きの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港、セリ、漁業に関わる人の風景を活かす取り組みや地元の人とのふれあい機会設定 ・道の駅において、車を降りてまちを歩く仕組み、情報提供、環境づくりを推進する ・まち中、路地をきれいに保つ取り組み

<削除>

現 行 (第2次計画)	改正案 (第3次計画)	変更理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・<u>まち歩きマップの整備、宿、観光施設でコース、ガイドなどの情報提供の実施</u> <p style="background-color: yellow; margin: 5px 0;">2. 観光資源の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①<u>経ヶ岬灯台のさらなる活用</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>灯台一般公開の回数・期間の増加、「かわらけ投げ」の実施など、さらなる魅力・発信力アップの取り組み</u> ・<u>灯台、よし野の里、碓高原をルート化、セットにした発信</u> ・<u>経ヶ岬行き路線バスの増便（伊根方面、間人方面とも）</u> ②<u>ジオパークとその恵みをより一層活かす取り組み</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>変化に富んだ海岸線の景勝地を海から見せる遊覧船の取り組み推進</u> ・<u>農業・漁業体験、農家・漁家民宿などを活かした、観光業者と農業・漁業者との連携した取り組みの推進</u> ・<u>立岩、大成古墳、丹後松島周辺のジオパーク散策コース設定とガイドの実施</u> ・<u>カニに勝る食材はない、世界一のカニのまちを目指す</u> <p style="background-color: yellow; margin: 5px 0;">3. 交通利便性の向上と周遊魅力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①<u>滞在・周遊促進のための交通、道路整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>丹後町内を周遊できる車の運行や着地型ツアーの実施、路線バスによる観光コース設定</u> ・<u>碓高原、丹後松島、久僧などで広がっている花運動の取り組みを広める</u> ・<u>間人漁港、立岩へ大型バスで行けるよう、アクセス道路及び駐車場整備を行う</u> 	<p><削除></p>	
<p>(5) 弥栄地域 目標：花、山野草を中心に自然と歴史の魅力発信に努めます</p> <p>①現状・課題、特徴など</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow; margin: 5px 0;">現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>丹後あじわいの郷を中心に、弥栄あしぎぬ温泉、森林公園スイス村など観光施設への誘客が中心</u> ・<u>特に野間地区は自然の宝庫であり、山野草、福寿草など素材は魅力的である</u> ・<u>駅がなく、また公共交通の便が悪いため、施設間の周遊が困難</u> ・<u>京丹後市エコエネルギーセンター、太鼓山風力発電など、エコスポット※として視察・見学が増加</u> ・<u>主要施設への入込客が下降している</u> ・<u>魅力的な素材が十分に活用されていない</u> 		

主な観光エリア	特 徴	主な観光要素
野間、スイス村 周辺	豊かな自然に恵まれた 素朴な集落と高原リゾ ート	スイス村 (キャンプ、スキー、環境学習、体 験、太鼓山風力発電)、山野草、福寿草、細 川ガラシャ (隠棲の地の碑、ガラシャ米)、 野間そば、野間川 (アユ、アマゴ)、ホテル、 農家民宿
あじわいの郷 周辺	あじわいの郷と温泉に よる集客	丹後あじわいの郷 (道の駅、自然・農業・食 の体験、太陽光発電)、弥栄あしぎぬ温泉
その他	大田南古墳群 (青龍3年鏡)、京丹後市エコエネルギーセンター、酒蔵	

②地域計画

1. 花、山野草を中心とした自然の魅力発信
①丹後あじわいの郷、スイス村、野間地区を中心とした花、山野草の魅力発信 ・スイス村のゲレンデを利用して日本一の芝桜を目指す ・丹後あじわいの郷の花の魅力アップと発信強化を行う ・野間、味土野地区に自生する福寿草の魅力を発信する
②須川、味土野地区の山野草、野間川を活かした取り組みを推進する ・山菜採り、筍堀りなど、山の食材を採取する取り組みの体験事業化と、食への有効活 用 ・イワナ養殖など、野間川の観光面での活用をより一層推進する
2. 歴史・史跡の活用
①多くある古墳などの史跡の価値、魅力を発信し活かす ・黒部銚子山古墳、奈具岡遺跡、遠慮遺跡、大田南古墳群などの一定整備と維持管理、 ガイドの実施 ・細川ガラシャの里について、丹後七姫ゆかりの地の一つとして一定の整備と維持管理
3. 観光施設を中心とした施設・地域間の連携
①あじわいの郷、スイス村、あしぎぬ温泉を中心とした施設、地域間のネットワーク形 成 ・関係施設などで協議会を組織し、施設間の連携方策、周遊の仕組みづくりなどを検討 し実施する ・環境関連施設を使用した観光・環境・農の連携。バイオマス※発電施設など既存施設 の観光での活用 ・観光に関連づけることができる民間人、施設の掘り起こし

(6) 久美浜地域 目標：久美浜湾とかぶと山をより一層活用します

①現状・課題、特徴など

<削除>

現状と課題
・穏やかで風光明媚な久美浜湾とかぶと山からの絶景は他地域にない魅力
・宿泊施設は湊宮地区に集中しており、民宿の割合が多い
・カニに加え、カキ料理が冬の食の魅力となっている
・小天橋から浜詰海岸にわたる約8kmのロングビーチと、ユウスゲ、トウテイランなど貴重な海浜植物がある海岸の景観が魅力
・久美浜湾でのカヌー、ドラゴンカヌーといった特色ある体験ができる
・久美浜湾、かぶと山を活用した取り組みが不十分である
・久美浜一区の街並み整備を行っているが、観光客がまち歩きするには魅力が少ない
・夏の海水浴、冬のカニ・カキ以外の誘客力が弱い

主な観光エリア	特徴	主な観光要素
久美浜湾南側	稲葉本家を中心とした歴史ある街並みとかぶと山の景観	久美浜湾、かぶと山、街並み、稲葉本家、如意寺（関西花の寺）、浜公園、カヌー、ドラゴンカヌー、熊野神社（川上摩須郎女ゆかりの地）
久美浜湾北側	海水浴と温泉、日本海と久美浜湾に面する宿泊エリア	海水浴（ロングビーチ）、久美浜湾、温泉、カニ、カキ、カキ漁、魚釣り、ゴルフ場、ユウスゲ、トウテイラン、マリンプラザ
旭・蒲井地区	自然豊かな隠れ家的スポット	海水浴、温泉、ツリーハウス、クラインガルテン※、魚釣り
その他	奥山自然たいけん公園、果樹（平田、箱石地区）、牧場、スサノオノミコト、酒蔵、コウノトリ、龍伝説	

②地域計画

1. 久美浜湾と日本海を中心とした資源活用
①かぶと山展望台からの絶景の活用
・歩いて上がって絶景を体感してもらえるよう、積極的な情報提供とイベントなどでの登山機会の増設
・かぶと山散策コースの設定とガイドの実施、不足している看板の整備
②久美浜湾の有効活用
・遊覧船、シータクシー※、屋形船などの久美浜湾内での運航
・ドラゴンカヌー体験の受入れ整備
・湾岸沿いへ桜、もみじなど植樹し、湾岸景観の魅力向上を図る
・カキ養殖、白鳥飛来などの景観活用
・景観を活かしたオイスターバーなど飲食施設の整備促進
・小天橋から浜詰海岸にわたる約8kmの砂浜海岸への遊歩道、自転車道などの整備促進
③日本海沿岸の貴重な海浜植物の活用
・ユウスゲと夕日景観、トウテイランなど、貴重な海浜植物や山野草の活用
2. まちの活性化とまち歩き、歴史による魅力発信
①街並みの保存と活性化を行い、観光へ活用する

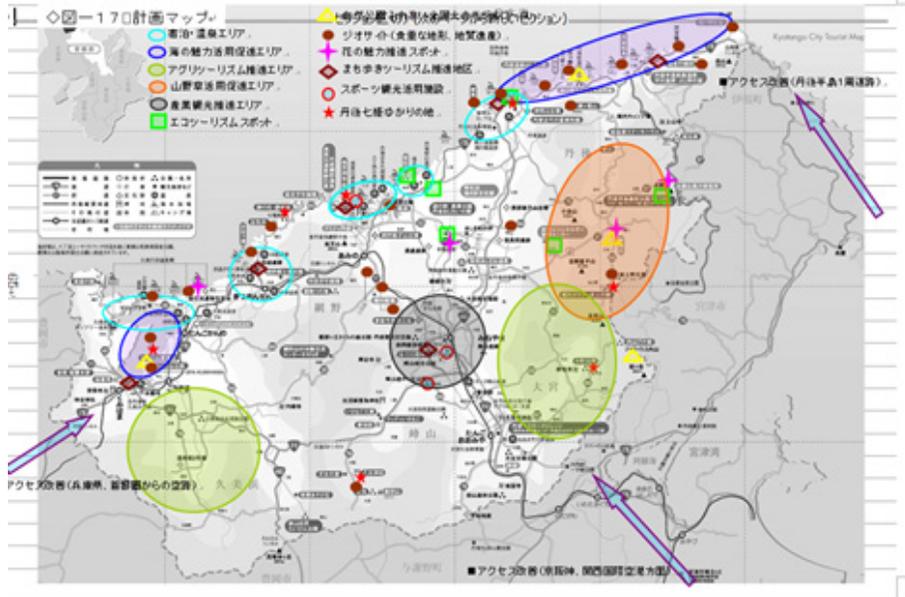
＜削除＞

- ・久美浜一区を中心とした街並み保存活動を推進しながら、まち歩きコースを設定する
- ・空き家、更地の活用、空き農地と住宅をセットにしたレンタル等による商店街の活性化
- ・グループホーム、ケアハウス、短期滞在施設など、セカンドライフの場所として発信し交流・定住人口の増加を図る
- ・全国に発信できる歴史的な魅力、資源をさらに研究・協議する

3. 地元食材の活用

①カキ、いさざ、山野草、砂丘地を利用した野菜、果樹など地元食材の有効活用

- ・季節感にこだわった食の提供
- ・山、里の食材の活用、魚介類流通の仕組み改善など、地産地消の仕組みの検討



<削除>

<更新>
※別紙

図更新